

令和3年度 第2回北区基本構想審議会次第

令和3年11月17日(水) 18時30分

北とぴあ15階 ペガサスホール

- 1 開会
- 2 各部会の構成員について
- 3 北区の概要について
- 4 各種調査等の結果
 - (1) 人口推計調査について
 - (2) 区民意識・意向調査について
 - (3) 職員・中学生・WEB アンケート調査について
- 5 その他
 - ・部会の進め方について
- 6 閉会

基本構想審議会部会別委員名簿(案)

部会名 (部会分野)	氏名	所属団体、役職など
部会 1 躍動 産業振興、 観光・シティプロモーション、 地域振興、 地域文化・生涯学習・スポーツ、 人権・多文化共生・男女共同参画	青山 匡史	公募委員
	新井 雅美	公募委員
	大塚 麻子	北区男女共同参画推進ネットワーク 運営委員庶務
	大貫 新一	北区町会自治会連合会 会長
	小澤 浩子	公益財団法人東京都北区体育協会 常務理事
	織戸 龍也	東京商工会議所北支部 シティプロモーション・まちづくり副分科会長
	◎加藤 久和	明治大学 政治経済学部 教授
	○阪口 毅	立教大学 コミュニティ福祉学部 准教授
	名取 ひであき	区議会議員 議長
	平井 久朗	北区商店街連合会 青年部長
部会 2 輝き 健康・医療、 高齢・介護、 障害、 権利擁護・生活支援、 子ども・家庭、 学校教育	◎岩崎 美智子	東京家政大学 家政学部 教授
	渋谷 伸子	北区民生委員児童委員協議会 赤羽中央地区副会長
	中嶋 みどり	公募委員
	野口 雄基	公募委員
	増田 幹生	一般社団法人東京都北区医師会 会長
	水越 乙彦	社会福祉法人北区社会福祉協議会 会長
	宮島 修	区議会議員 企画総務委員会委員長
	森 将知	特定非営利活動法人 北区障害者団体連合会
	森口 智志	北区小学校PTA連合会 副会長
	○山本 美香	東洋大学 ライフデザイン学部 教授
部会 3 創出 都市計画、 防災・防犯、 道路・交通、 住宅・公園河川、 環境共生・環境保全・資源循環	内海 千津子	公募委員
	岡本 百合子	北区地域リサイクラー協議会 会長
	小田切 かずのぶ	区議会議員 副議長
	下山 豊	北区町会自治会連合会 (自主防災組織) 神谷連合町会長
	◎高橋 儀平	東洋大学 名誉教授 (工業技術研究所)
	戸枝 大幸	区議会議員 企画総務委員会副委員長
	永沢 映	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事
	新留 美哉子	公募委員
	丸山 吉栄	一般社団法人東京都建築士事務所協会北支部 支部長
○村上 公哉	芝浦工業大学 建築学部 教授	

※敬称略。部会ごとに50音順。

※◎印は部会長、○印は副部会長。

資料 2

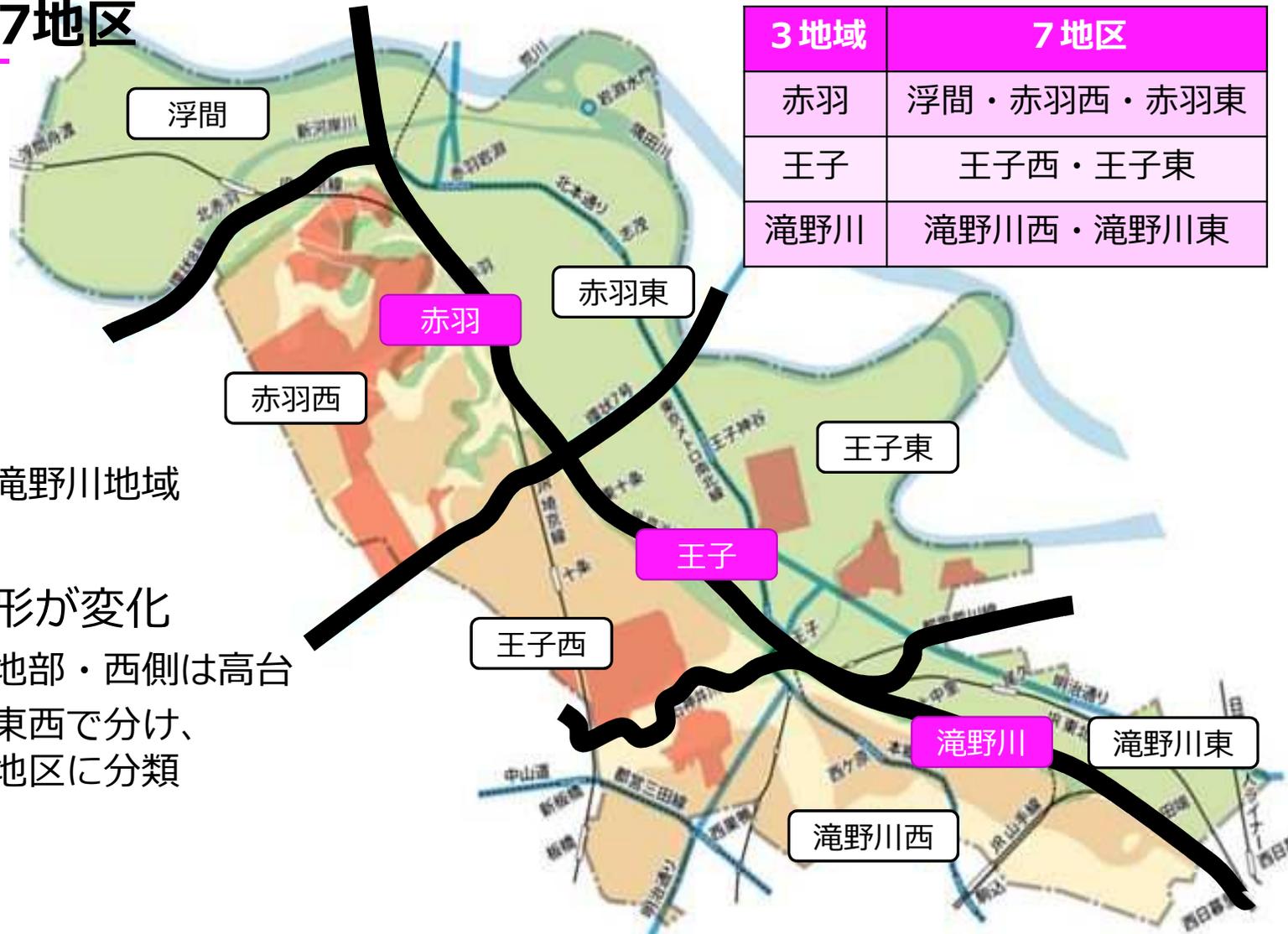
1

北区の概要

地理的特性・区域・地区など

地理的特性・3地域7地区

- JR11駅・地下鉄7駅
- 4つの河川
 - 荒川・隅田川
新河岸川・石神井川
- 北区の3地域
 - 環7以北が赤羽地域
 - 概ね石神井川以南が滝野川地域
 - 真ん中が王子地域
- 京浜東北線東西で地形が変化
 - 東（隅田川）側が低地部・西側は高台
 - 3地域を京浜東北線東西で分け、浮間地区を含めた7地区に分類



数字で見る北区

🌀 面積：20.61km²

🌀 人口（令和3年1月1日時点）：353,158人 うち外国人：22,271人

🌀 世帯（令和3年1月1日時点）：199,016世帯
一世帯当たりの平均構成員：1.77人

🌀 出生数（令和2年1月～12月）：2,872人

🌀 死亡数（令和2年1月～12月）：3,553人

🌀 転入などによる増（令和2年1月～12月）：26,377人

🌀 転出などによる減（令和2年1月～12月）：26,052人

7.9人の
赤ちゃんが
生まれて
います。



72.2人が
北区へ
引っ越してき
ています。



0.2件の
火事が起きて
います。



54万6千人
が、JR・地下鉄
に乗り降りして
います。



9.7人が
お亡くなりにな
っています。



71.4人が
北区から
引っ越して
います。



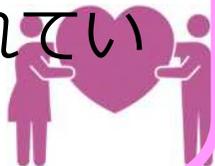
6.1件の
犯罪が発生し
ています。



8,653点の
図書・CDなど
を図書館で貸し
出しています。



6.5件の
婚姻届が北区
に出されています。



1.5件の
離婚届が北区
に出されて
います。



1.3件の
交通事故が起
こっています。

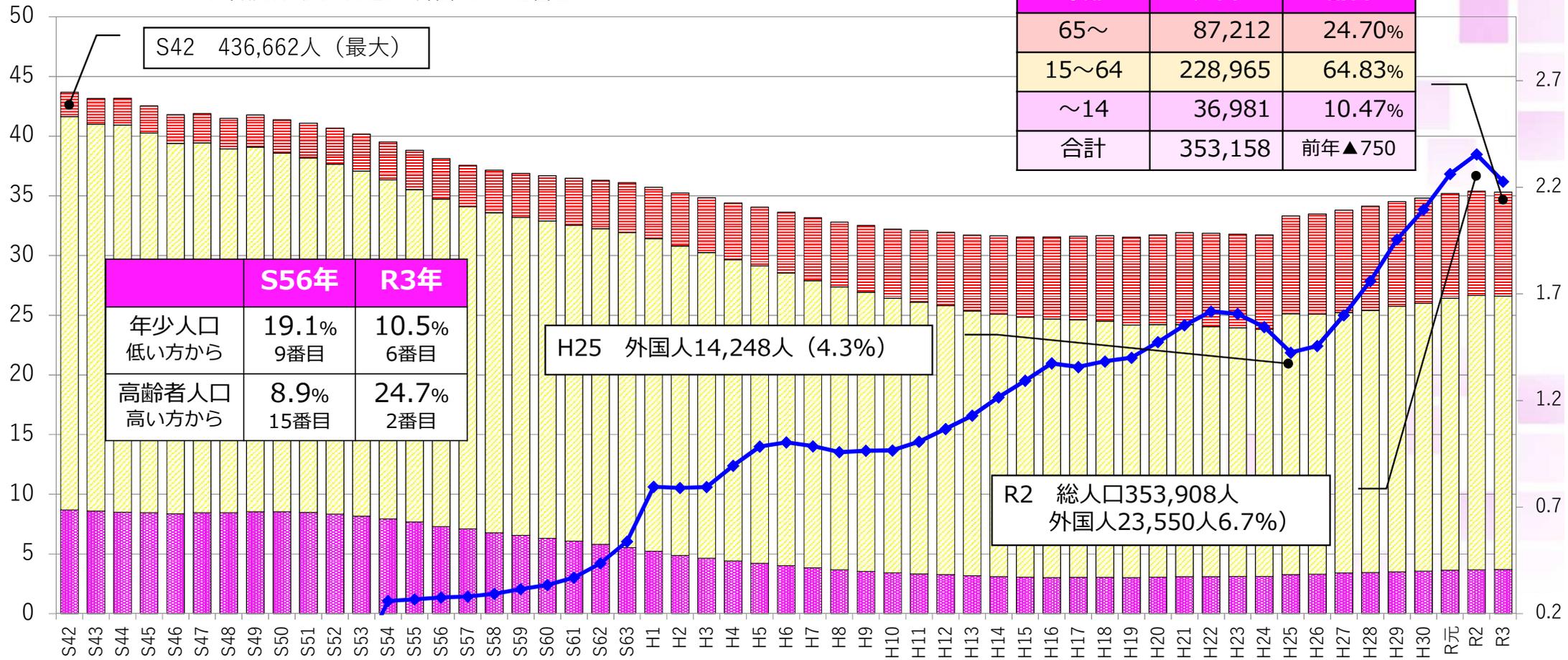


北区の人口：353,158人（日本人330,887人 外国人22,271人）

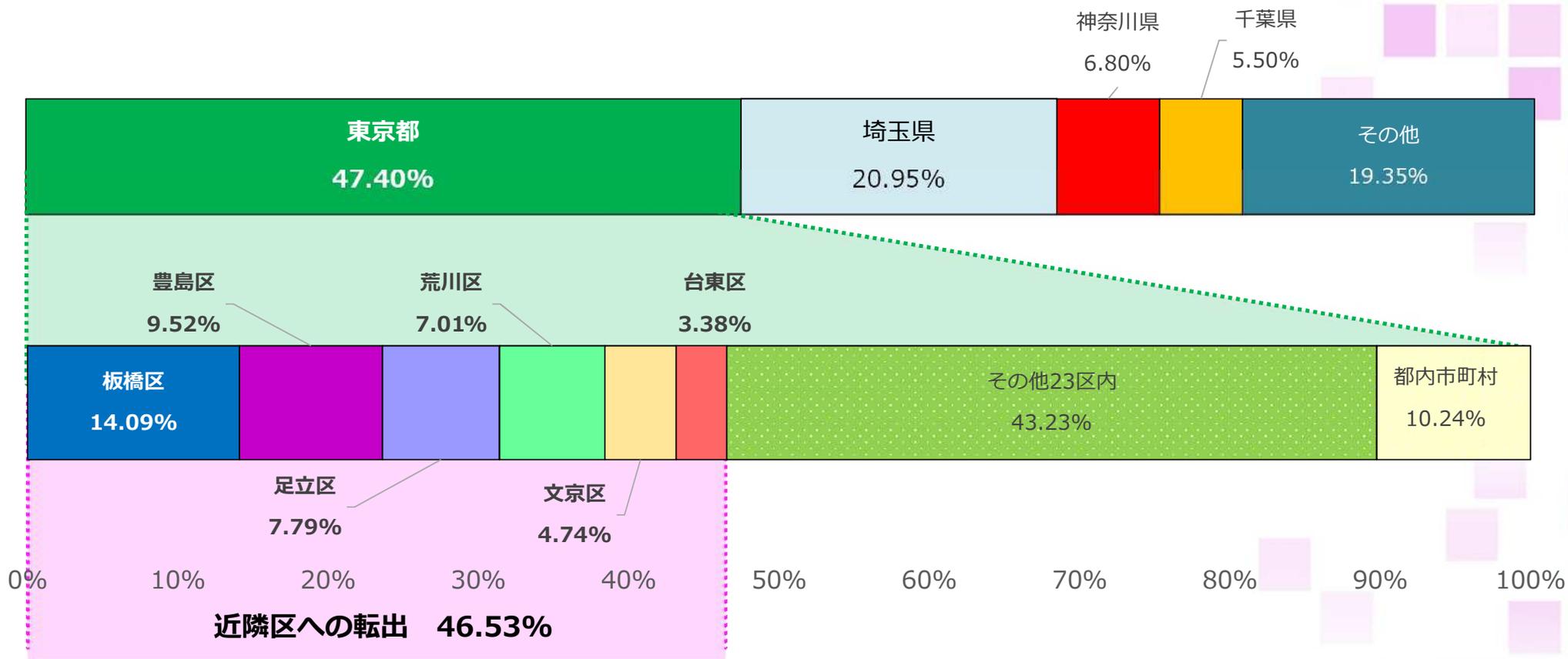
0歳～14歳 15歳～64歳 65歳以上 ◆外国人（内数）
 ※年齢別グラフ：H25～外国人人口を含む

R3年1月1日現在

年齢	人口	割合
65～	87,212	24.70%
15～64	228,965	64.83%
～14	36,981	10.47%
合計	353,158	前年▲750

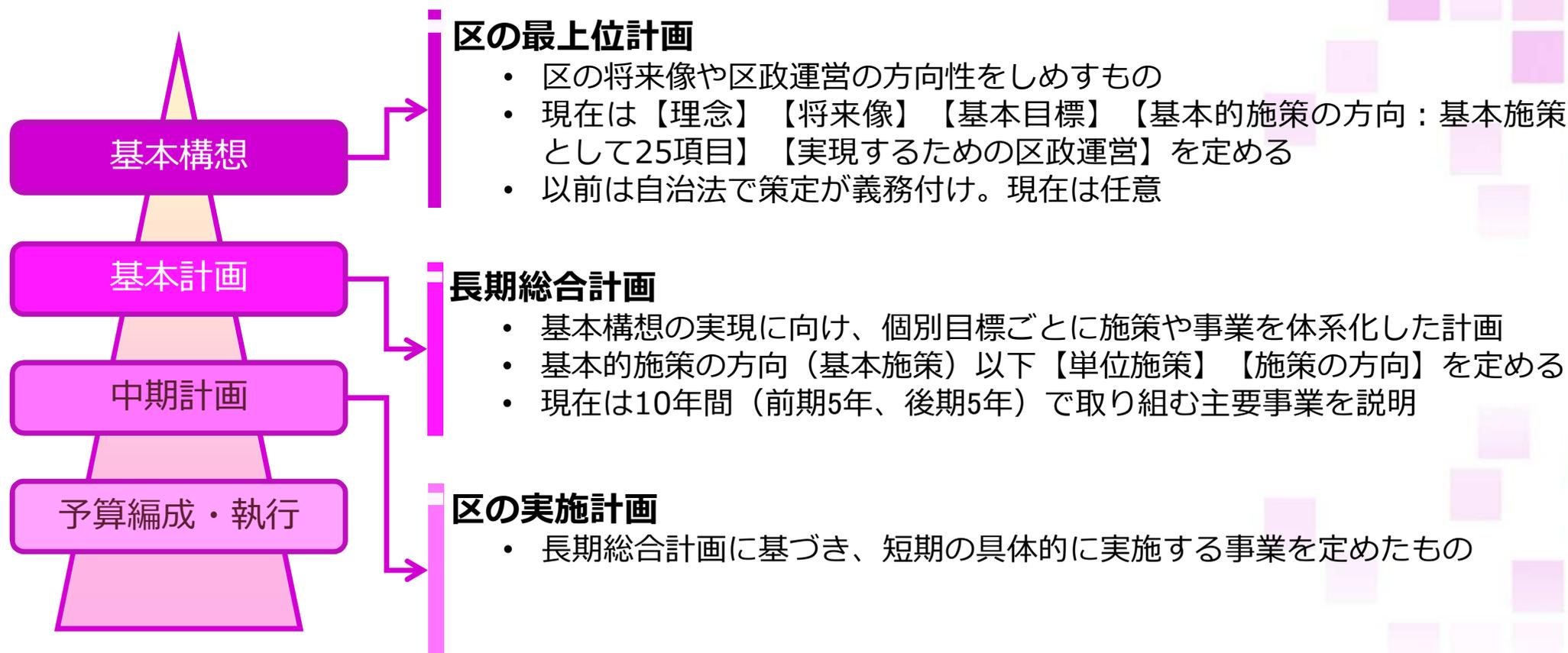


転出先状況 (都道府県別・都内区市町村別) (令和2年)



北区からの転出先は都内が約半数。埼玉県は2割程度。都内転出も、半数近くは生活圏が大きく変わらない近隣区が占める

計画体系は、3層構造（構想→総合計画→実施計画）



北区基本構想（平成11年6月）

• 新しい課題への取組み

1. 区民の価値観、ライフスタイルの多様化
2. 本格的少子高齢社会の到来
3. 地球環境問題、安全・安心への関心の高まり
4. グローバル化と高度情報化の進展
5. 低成長経済への移行
6. 地方分権の推進

• 基本構想の理念

1. 平和と人権の尊重
2. 区民自治の実現
3. 環境共生都市の実現

• 将来像

ともにつくり 未来につなぐ ときめきのまち
-人と水とみどりの美しい ふるさと北区

• 基本目標

1. 健やかに安心して暮らせるまち北区
2. 一人ひとりがいきいきと活動するにぎわいのあるまち北区
3. 安全で快適なうるおいのあるまち北区

• 目標年次

概ね15年から20年後の平成27年から平成32年（2020年）頃

• 将来人口

平成27年から平成32年頃には、30万人を下回り、20万人台後半になるものと推計。少しでも均衡のとれた人口構成をめざす

• 将来像実現のための基本的施策の方向

北区基本構想

基本計画 2020

新たな時代に 未来への希望を紡ぐ ふるさと北区

基本構想で示した将来像を実現するために、令和2年度から令和11年度までの10年間に区が行う施策の内容を明らかにした「長期総合計画」

前期計画期間：令和6年度までの5カ年 後期計画期間：令和7年度以降の5カ年

区の基本姿勢 ⇒ 「区民とともに」

「区民（NPO・事業者等を含む）への期待」と
「区（行政）の役割」を明記



区民とともに

区民（NPO・事業者等を含む）への期待

- ・ 栄養・運動・休養の調和のとれた生活習慣を身につける。
- ・ 健康づくりの意識を高める。
- ・ 定期的に健診や検診を受ける。
- ・ 保健医療関係団体、事業者やNPOは、区民の生活習慣病の予防や健康づくりを支援する。
- ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会はかかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局の普及・定着に向けて取り組む。

区（行政）の役割

- ・ 生活習慣病やバランスの良い食習慣に関する知識を普及・啓発する。
- ・ 健康を意識した行動の習慣化に向けて取り組む。
- ・ 健診や検診の重要性を啓発し、受診しやすい体制を構築する。
- ・ 保健師を中心とした健康づくりの支援を行う。
- ・ かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局の普及・定着を支援する。
- ・ 医療・介護関係者のさらなる連携推進を図る。

北区基本構想

基本計画 2020

基本姿勢「区民とともに」

北区の最重要課題

地域のきずなづくり
子育てファミリー層・若年層の定住化

3つの優先課題

「地震・風水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」
で取り組むこと

「長生きするなら北区が一番」を実現すること

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする

北区の新たな魅力や価値を創出する施策の展開

本格化するまちづくりの一層の推進

文化・芸術・産業・観光 北区らしさの
創造

水・みどり・公園 新たな魅力とうるおい
の創出

多様性の尊重 だれもがいきいきと生活で
きる基盤の確立

基本構想に掲げる
北区の将来像の
実現

北区基本構想

基本計画2020における北区のSDGs達成に向けた取組み

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため、17のゴール・169のターゲットで構成される、2030年を年限とする国際目標

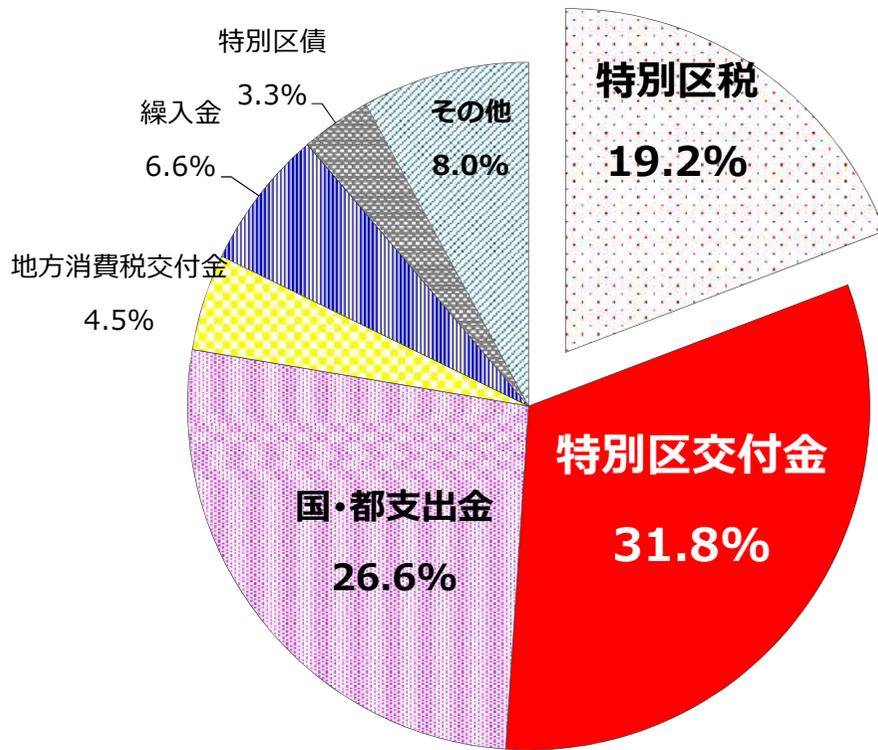


・ 北区が基本計画2020で取り組む方向性は、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目指す17の目標とスケールは異なるが、めざすべき方向性は同様

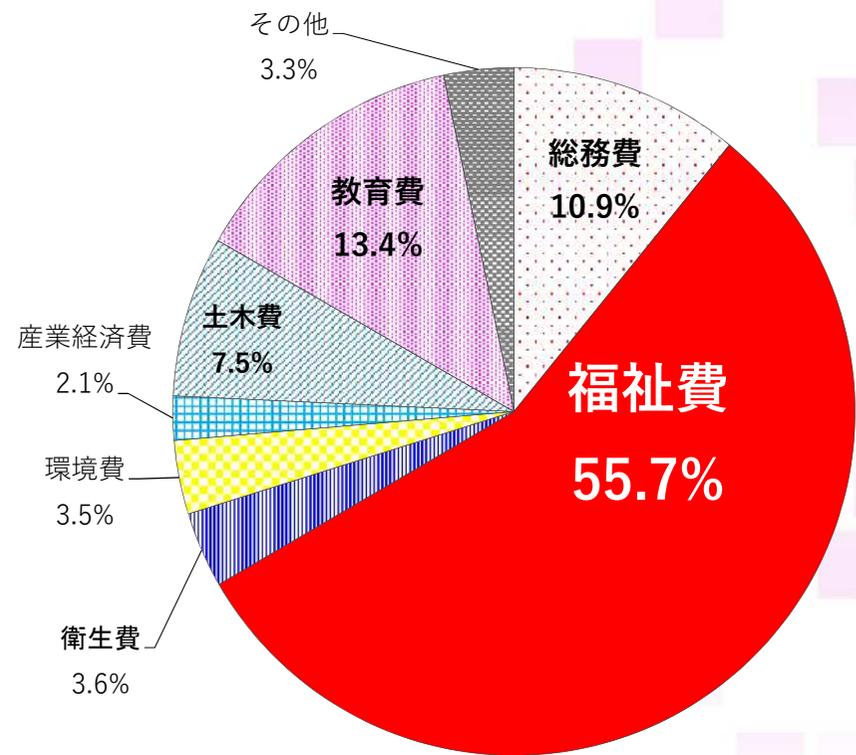
・ 基本計画の推進を図ること
で、SDGsの目標達成に資する

財政：歳入・歳出 令和3年度一般会計当初予算1,539億8,200万円

令和3年度 一般会計当初予算（歳入）

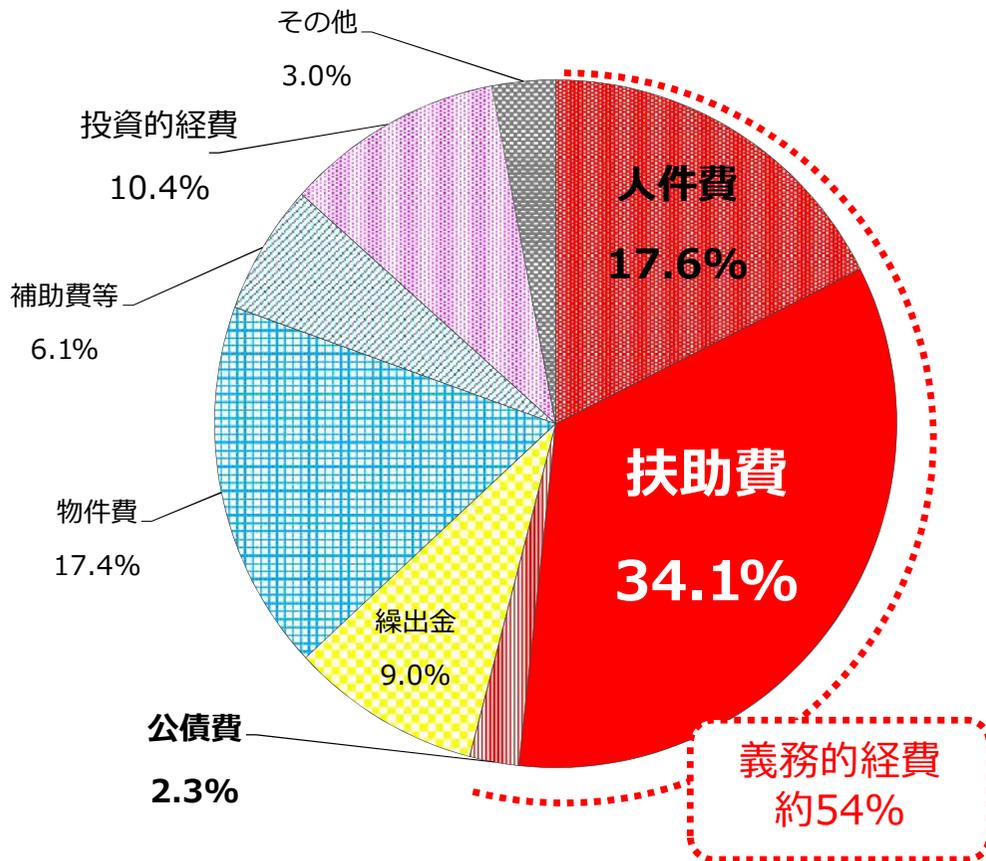


令和3年度 一般会計当初予算（歳出）

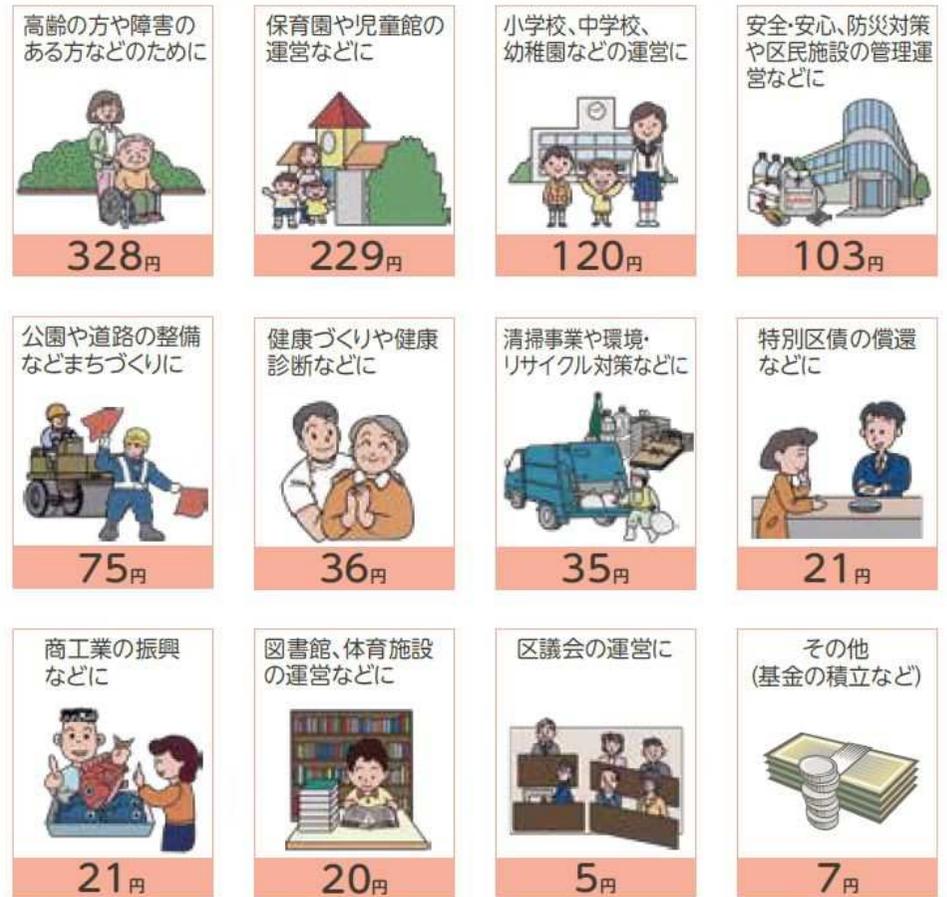


財政：歳出 令和3年度一般会計当初予算1,539億8,200万円

令和3年度一般会計当初予算（歳出）性質別



令和3年度当初予算にみる1,000円の使い方



シティプロモーション・イメージ戦略

ブランドメッセージ



赤羽駅の発車メロディがエレカシに!!
エビバデ!住めば北区!

アンバサダー



東京北区渋沢栄一プロジェクト

- ・ 大河ドラマ「青天を衝け」主人公
- ・ 令和6年（2024年）新一万円札肖像画



渋沢翁の功績や渋沢翁を核とした北区の魅力を広く発信し、北区の知名度向上とイメージアップへとつなげていくために、東京北区観光協会や民間企業など、官民連携で実施

渋沢 × 北区 青天を衝け 大河ドラマ館
 飛鳥山博物館内に設置
 令和3年12月26日まで



北区民意識・意向調査報告書の概要

調査の内容と方法

- ・調査地域：北区全域
- ・調査対象：令和3年1月1日現在の北区住民基本台帳に記載されている満18歳以上の男女標本数2,000人
- ・標本抽出法：住民基本台帳からの層化無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収
- ・調査期間：令和3年6月4日～7月2日

前回調査の内容と方法

- ・調査地域：北区全域
- ・調査対象：平成30年1月1日現在の北区住民基本台帳に記載されている満18歳以上の男女標本数2,000人
- ・標本抽出法：住民基本台帳からの層化無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収及びインターネットによる回答
- ・調査期間：平成30年5月28日～6月22日

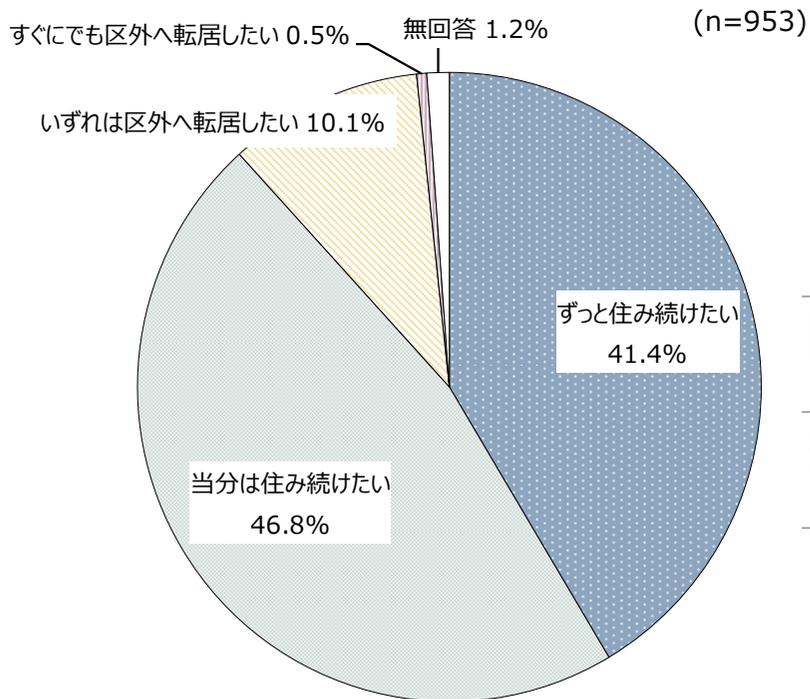
回収状況

- ・有効回収数 953人
- ・回収率 47.7%
- ・有効回収率 47.8%

定住意思

- ◆ 北区への今後の『定住意向』は9割弱と高く、前回調査と比べても高くなっている。
- ◆ 居住理由としては、「生活・交通の利便性がよい」の割合が非常に高い。
- ◆ 一方で、若い世代の『転居意向』が他年代に比べてやや高くなっている。

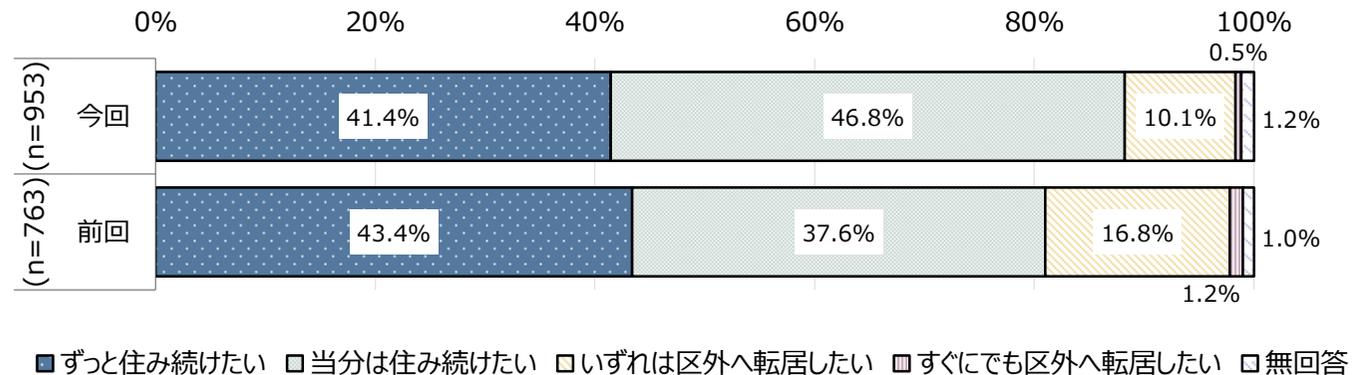
図表 3-18 定住意向



2) 経年比較

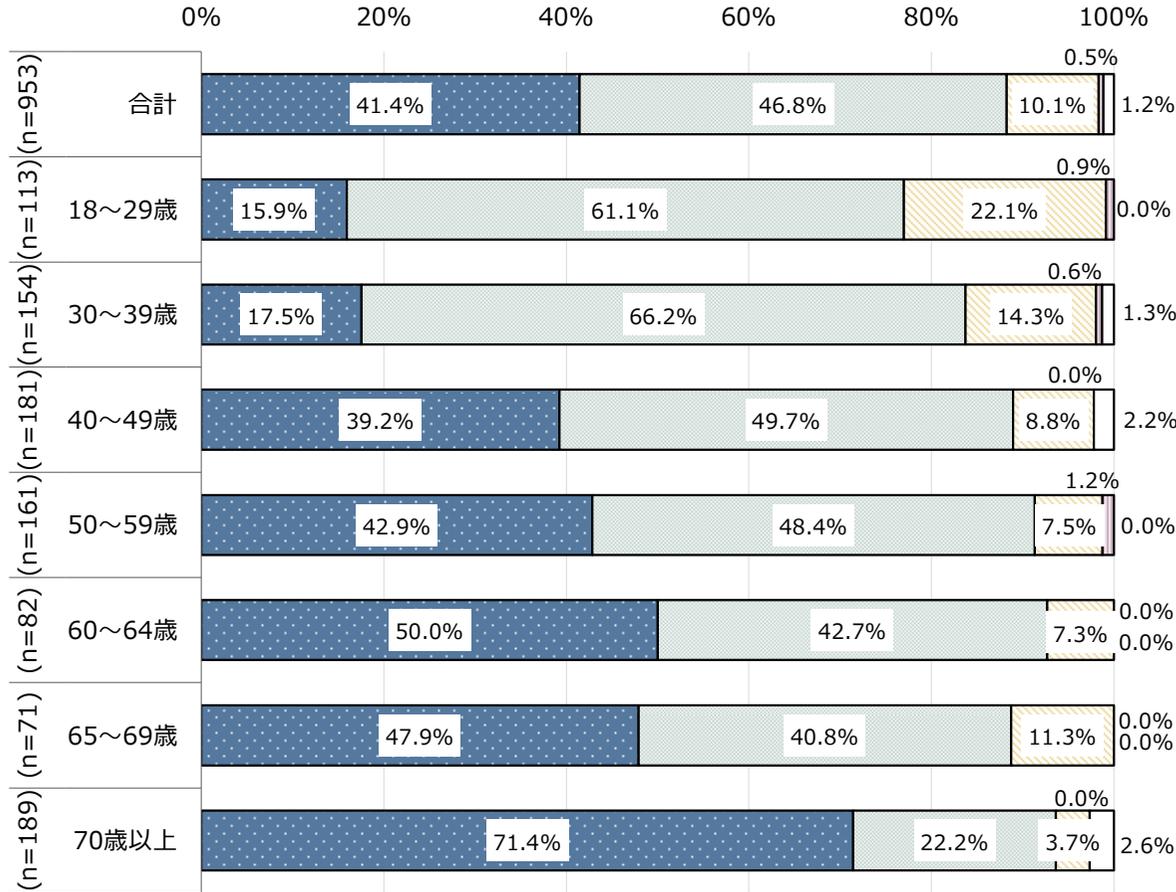
前回調査と比較すると、「当分は住みたい」の割合が上昇し、「いずれは区外へ転居したい」の割合が低下している。

図表 3-19 定住意向（経年比較）



定住意向（年齢別）

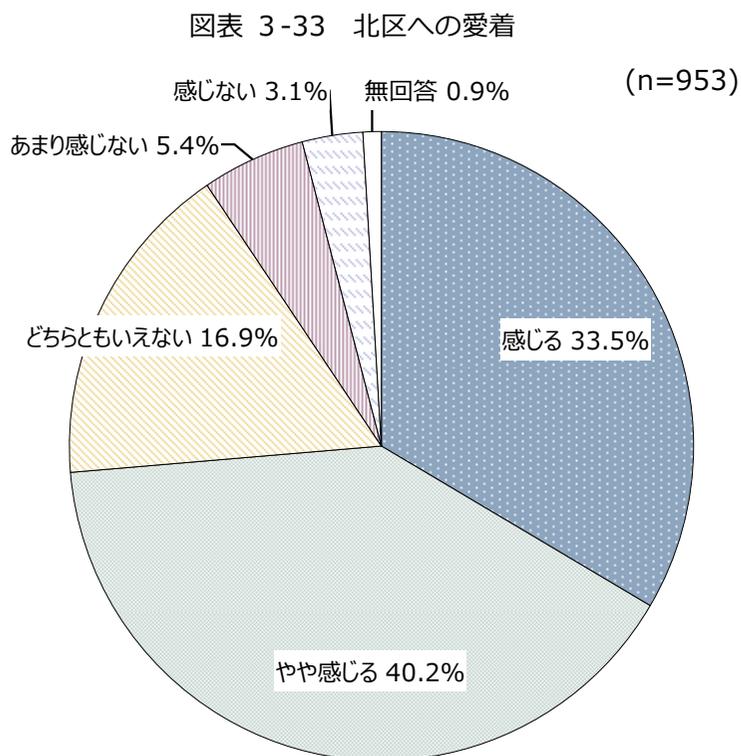
図表 3-20 定住意向（年齢別）



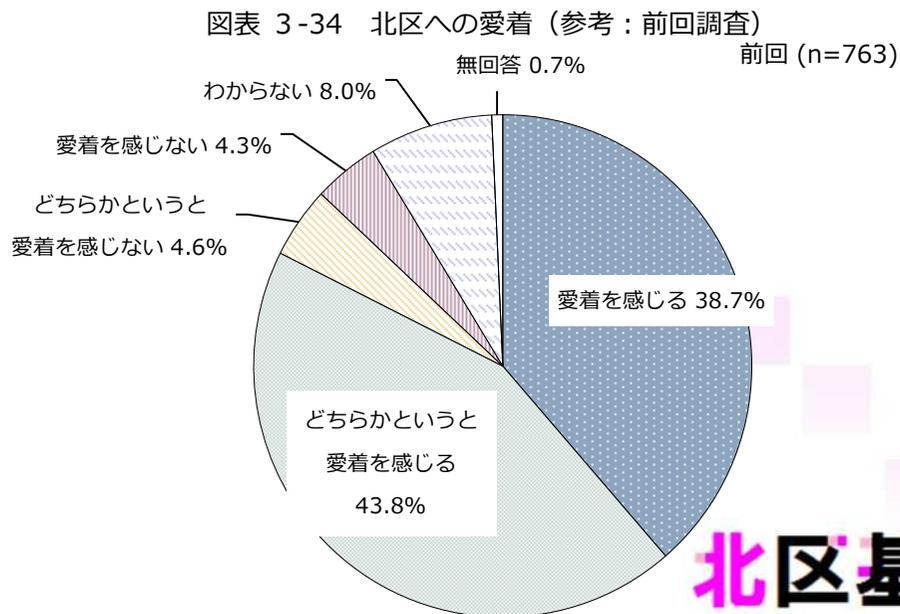
■ずっと住みたい □当分は住みたい □いずれは区外へ転居したい □すぐにでも区外へ転居したい □無回答

シビックプライド（北区への愛着や北区の魅力として誇れること）

- ◆ 『愛着を感じる』割合は7割を超えているが、前回調査に比べ1割低下した。
- ◆ 北区の魅力として、「便利で住みやすい」ことを挙げる人が約7割と最も割合が高い。
- ◆ 年齢別にみると、第1位はいずれの年齢も「便利で住みやすい」であるが、第2位は64歳以下で「商店街がある」、65歳以上で「公園・みどりなどの自然環境に恵まれている」である。



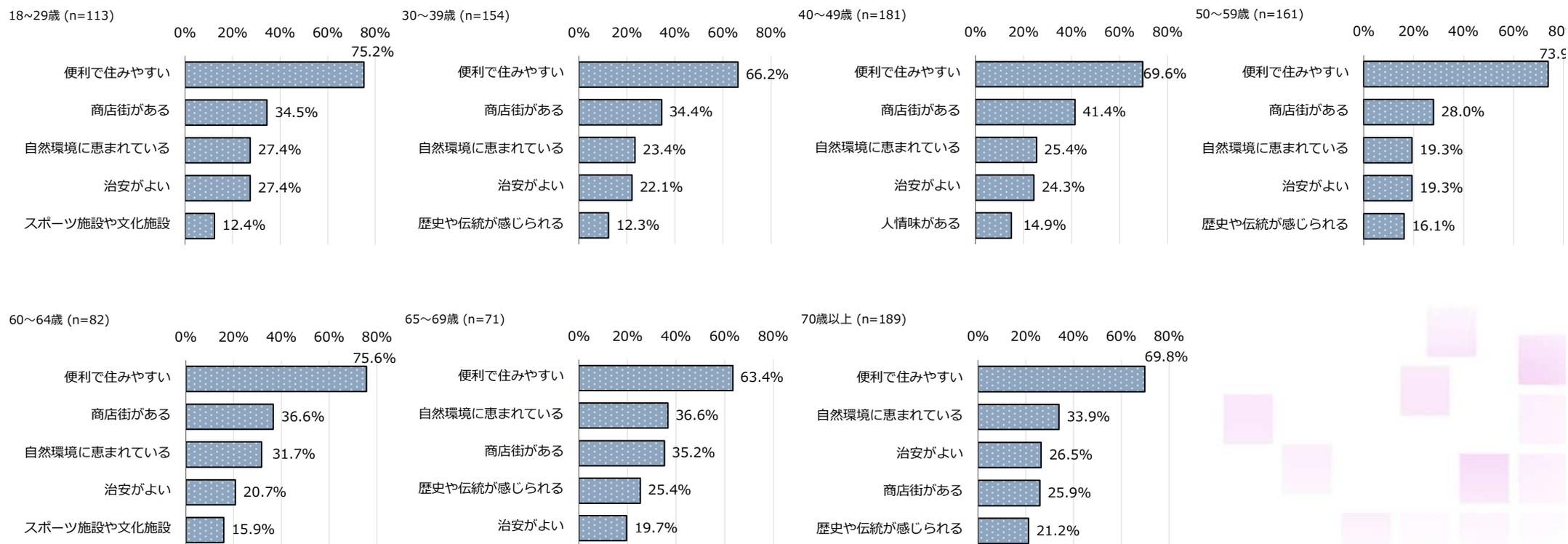
前回調査では北区への「愛着を感じる」「どちらかという愛着を感じる」の合計割合が82.5%であり、今回調査の愛着を「感じる」「やや感じる」の合計割合である73.7%を上回っている。ただし、今回調査では「どちらともいえない」の割合が16.9%となっている点に留意が必要である。



北区の魅力（年齢別）

年齢別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～64歳」では「商店街がある」、「65～69歳」「70歳以上」では「自然環境に恵まれている」となった。

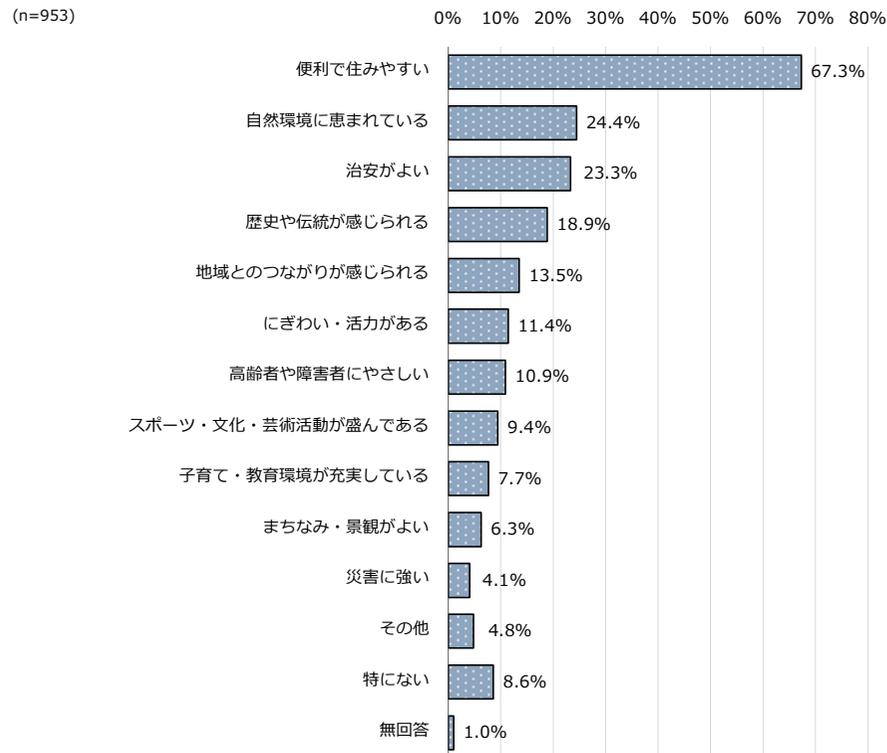
図表 3-40 北区の魅力（年齢別：上位5位）



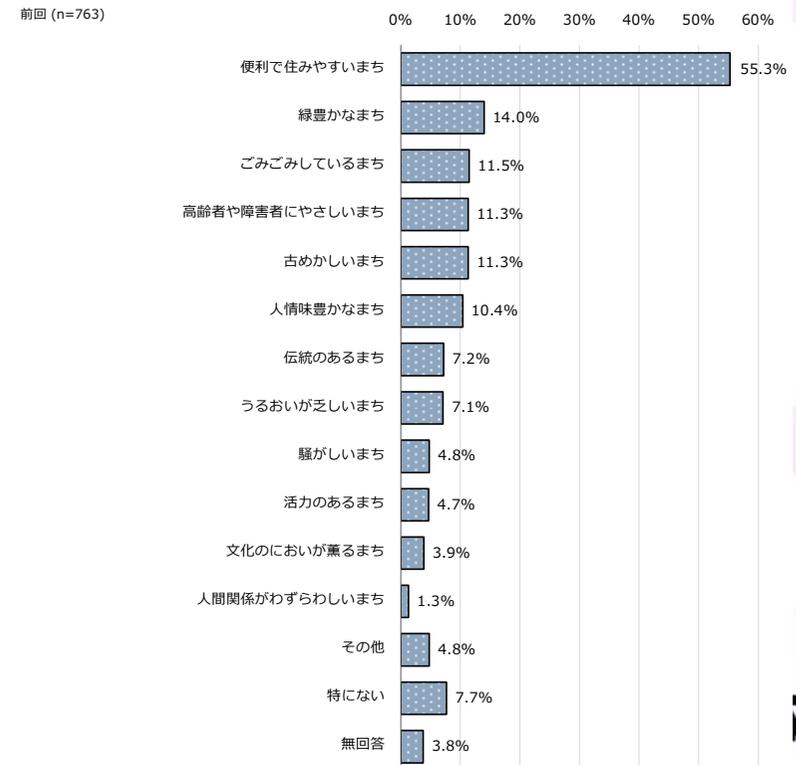
北区のイメージ

- ◆ 北区のイメージも将来像も「便利で住みやすい」が上位となった。次いで、「自然環境に恵まれている」「治安がよい」など、良好な住宅地としてのイメージが挙げられている。
- ◆ 現在の魅力やイメージでは「にぎわい・活力がある」の回答割合はやや低いが、将来像としては「地域産業や商店などの活力にあふれている」の回答割合が高い。

図表 3 43 北区のイメージ



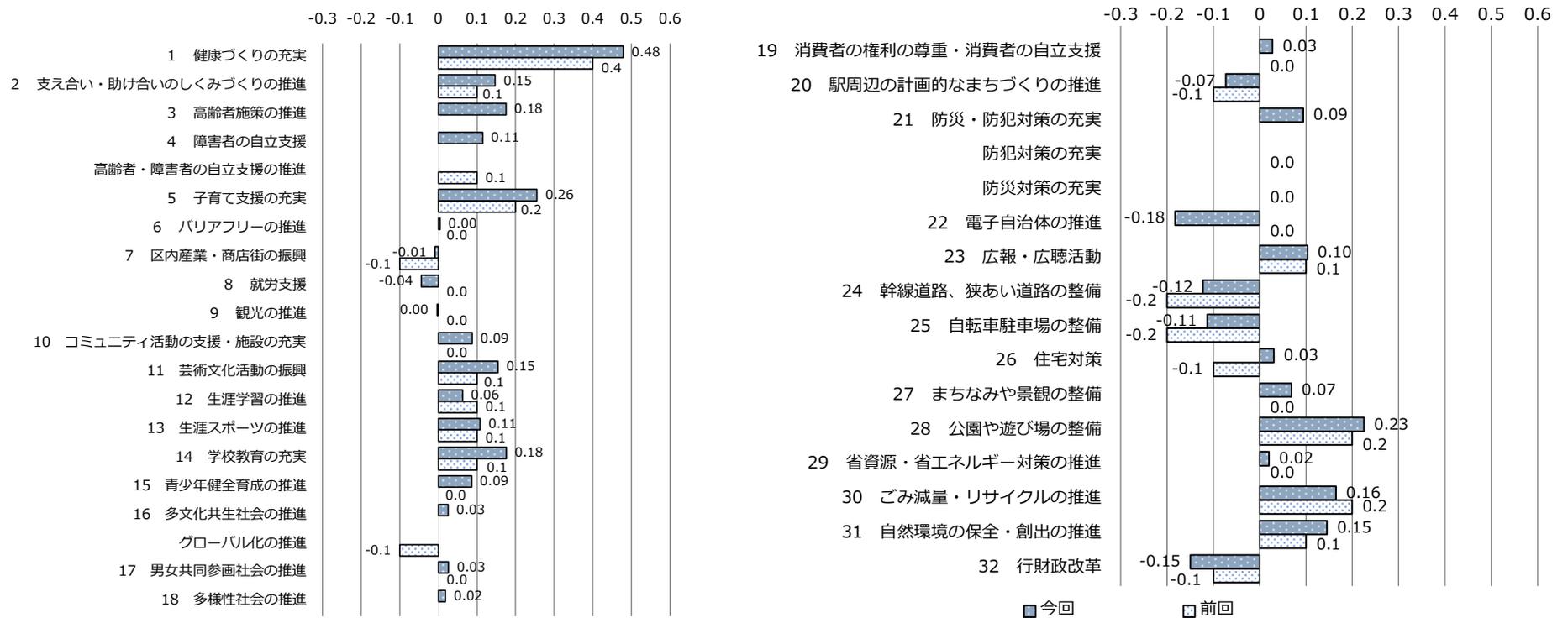
図表 3 44 北区のイメージ（参考：前回調査）



区の施策への評価・満足度

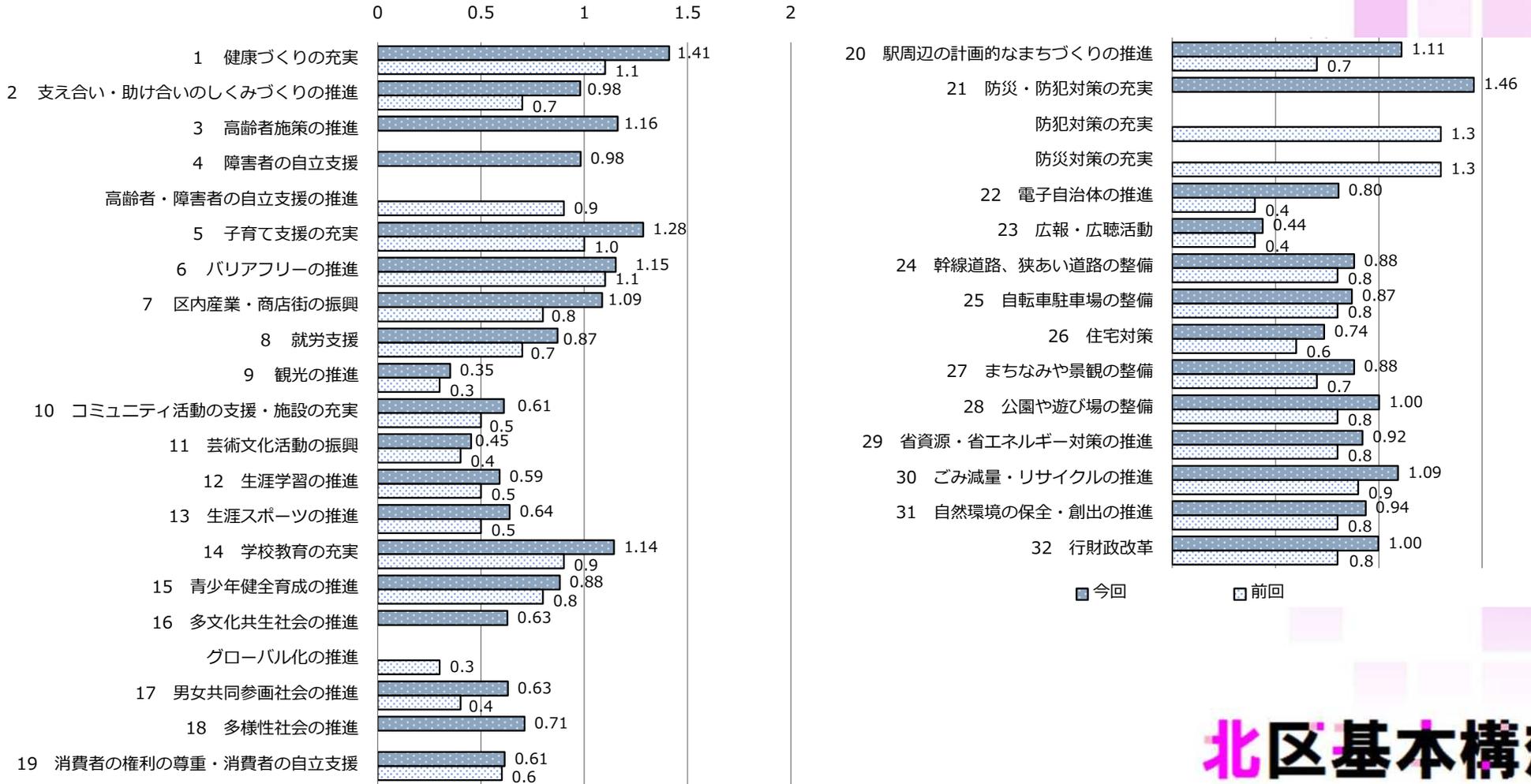
- ◆ 重要度・満足度がともに高いのは「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「子育て支援の充実」「高齢者施策の推進」「学校教育の充実」「防災・防犯対策の充実」など、教育、福祉、安全・安心に関する分野が多くあてはまる。
- ◆ 重要度は高いが満足度が低いのは「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「区内産業・商店街の振興」「バリアフリーの推進」「行財政改革」など、まちづくり・交通や産業、行財政に関する分野があてはまる。

図表 3-56 施策満足度（点数化：経年比較）



施策の重要度

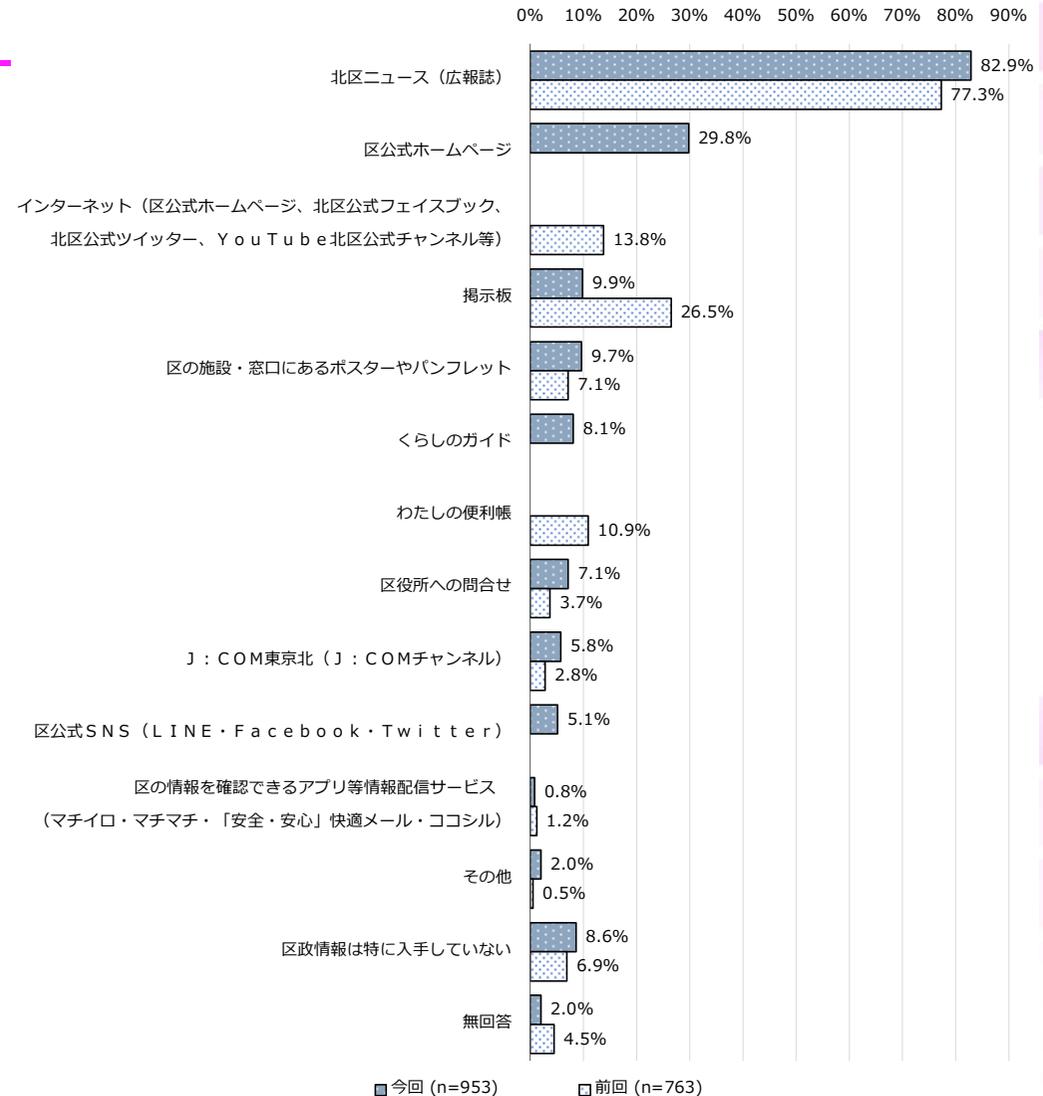
図表 3-62 施策重要度（点数化：経年比較）



地域活動等への区民参画（地域との共生）

- ◆ 地域活動等へ参加したことがある人、ない人はいずれも約5割となった。
- ◆ 地域活動等へ参加しない理由としては、「きっかけがない」「忙しく時間が合わない」「興味がない」とする回答の割合が高い。
- ◆ 北区の情報の入手媒体は、「北区ニュース」が約8割で最も高い。一方で、若い世代では「区政情報は特に入手していない」の割合がおよそ3割となった。
- ◆ 区政や地域活動への参加を促進するために必要なことは、『開かれた区政の推進』や『多様な手段による情報発信』の割合が高い。

図表 3-76 北区の情報の入手先（経年比較）



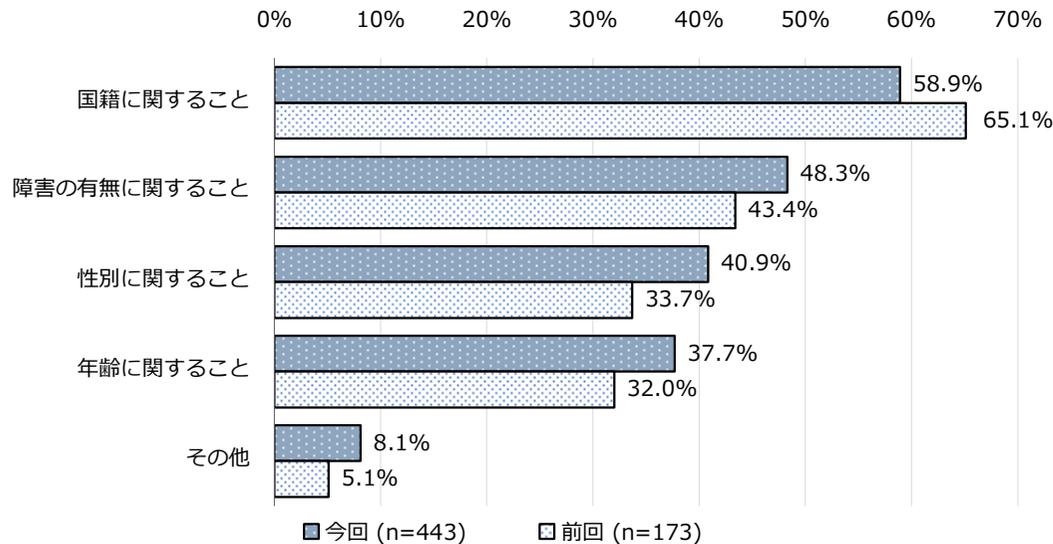
多様性を尊重しあう社会

- ◆ 差別や偏見を「感じたことがない」人は約半数。
- ◆ 感じたことのある差別や偏見は、「国籍に関すること」の割合が高い。
- ◆ 性別にみると男性より女性において、年代別にみると若い世代ほど、差別や偏見を「感じたことがある」と回答する割合が高い。
- ◆ 外国人区民と日本人区民との共存に向けては、『コミュニケーション機会の充実』や『外国人区民が日本語等を学ぶ機会の充実』が求められている。

2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「国籍に関すること」の割合が65.1%から58.9%に低下しているが、「障害の有無に関すること」「性別に関すること」「年齢に関すること」はいずれもやや上昇している。

図表 3-82 差別や偏見の有無（経年比較）



注) 今回調査は、「感じたことはない」と「無回答」を除外した値を母集団とし、各選択肢の回答率を算出した値である。

注) 前回調査は、「国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見が身近にあると感じた」人が具体的な差別・偏見の内容を回答する形式。前回調査の選択肢は、「国籍に関して」「障害の有無に関して」「性別に関して」「年齢に関して」「その他」となっている。前回調査無回答者の割合は除外した。

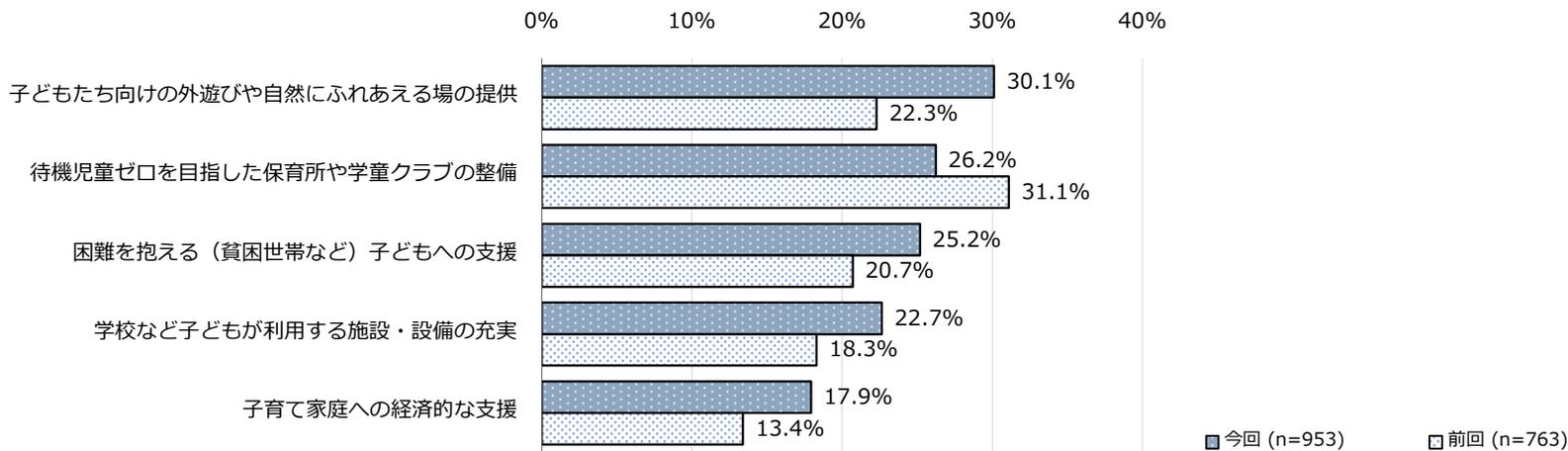
子育て・教育

- ◆ 子育て支援としては、子どもたちが『自然にふれあえる場の提供』『保育所や学童クラブの整備』『困難を抱える子どもへの支援』が求められている。
- ◆ 年齢別にみると、18～29歳は『子育て家庭への経済支援』を、30～40代では『自然にふれあえる場の提供』を重視する傾向がある。
- ◆ 学校教育としては、『生きる力向上への取組み』『人権・道徳教育の推進』『個性に応じた教育』が期待されている。
- ◆ 小・中学生の子どもがいる家庭では、『生きる力向上への取組み』に次いで『学力向上への取組み』も重視される傾向がある。

2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供」の割合が22.3%から30.1%に上昇している。一方で、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」の割合は31.1%から26.2%と、割合は下がっている。

図表 3 90 子育て支援（経年比較） 上位5位抜粋

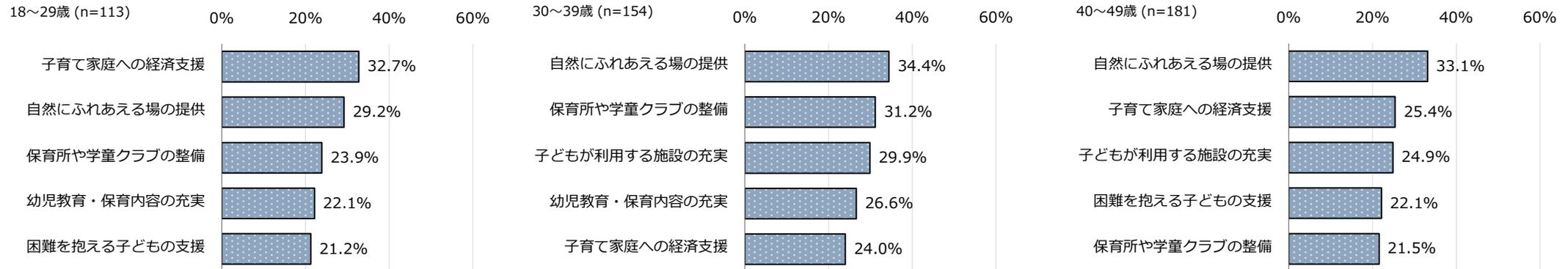


子育て支援（年齢別）

3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」では「子育て家庭への経済支援」の割合が最も高い。「30～39歳」「40～49歳」「60～64歳」では「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高く、「50～59歳」「70歳以上」で「困難を抱える子どもの支援」の割合が最も高い。「65～69歳」では、「保育所や学童クラブの整備」の割合が最も高い。

図表 3 91 子育て支援（年齢別：上位5位）



健康・福祉

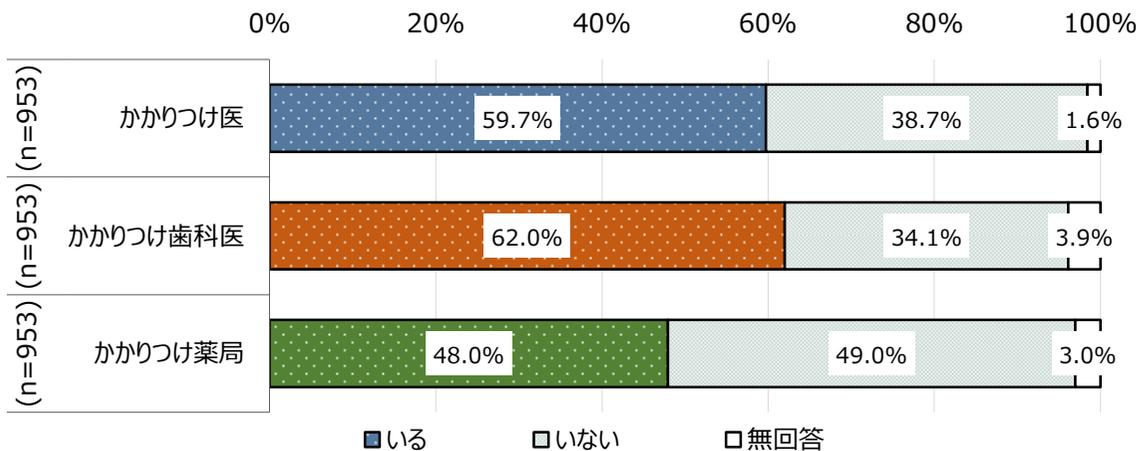
- ◆ かかりつけ医等がいる割合はおよそ6割で、高齢者ほど割合が高い。
- ◆ 区民の健康づくりに向けて、『施設の開放、散歩道・公園整備』が必要と回答した割合は約6割。
- ◆ 40代以下では『ICTを活用した健康づくり』も回答の上位にあげられている。
- ◆ 障害者支援としては、『障害者の就労機会拡大』『バリアフリー等の環境整備』『障害者の福祉サービス等充実』が求められている。

<かかりつけ医の存在>

◇かかりつけ医・歯科医がいる割合は約6割

かかりつけ医のいる割合は59.7%、かかりつけ歯科医がいる割合は62.0%、かかりつけ薬局のある割合は48.0%であった。年齢別にみると、高齢であるほどかかりつけ医、かかりつけ薬局のいる割合は高い。一方で、かかりつけ歯科医については年齢別に顕著な差はみられない。

図表 3-103 かかりつけ医等の有無



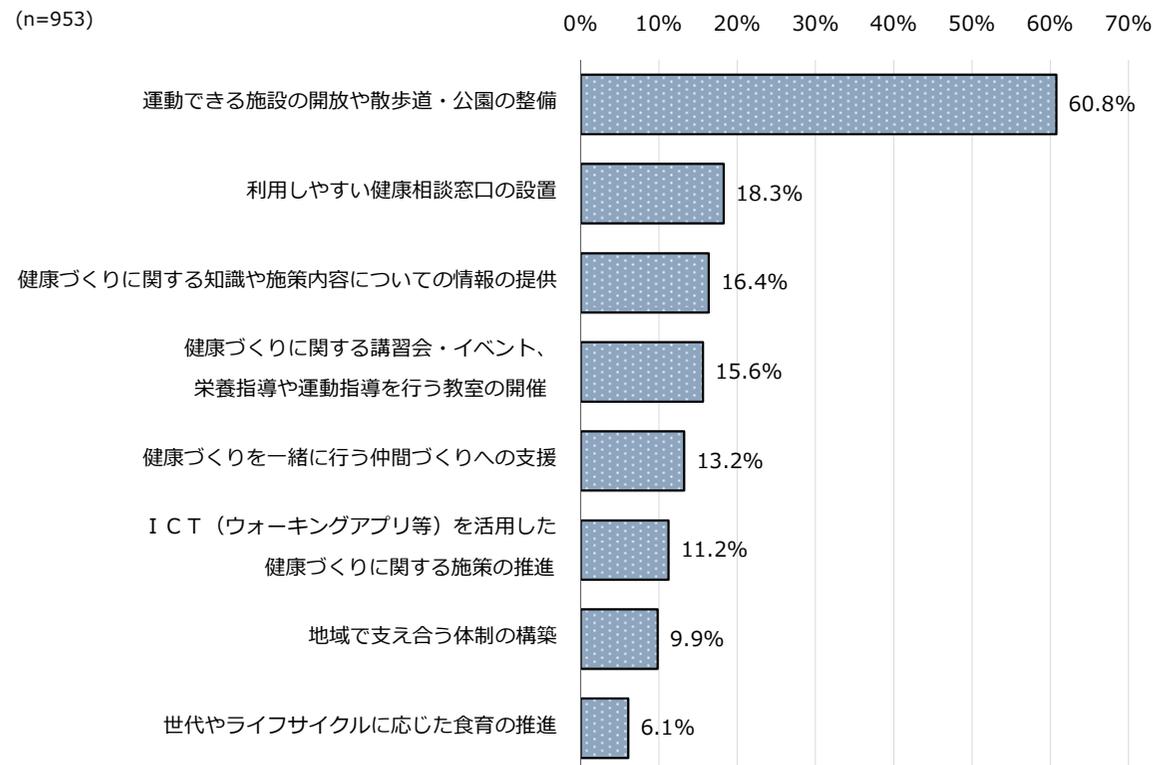
健康・福祉

<区民の健康づくりに向けて力をいれるべきこと>

◇健康づくりの推進のために必要なこととして『施設開放や散歩道等の整備』が約6割

健康づくりの推進のために力をいれるべきこととして、「運動できる施設の開放や散歩道・公園の整備」の回答割合は60.8%であり、それに次ぐ「利用しやすい健康相談窓口の設置（18.3%）」と比較しても割合が非常に高い結果となった。

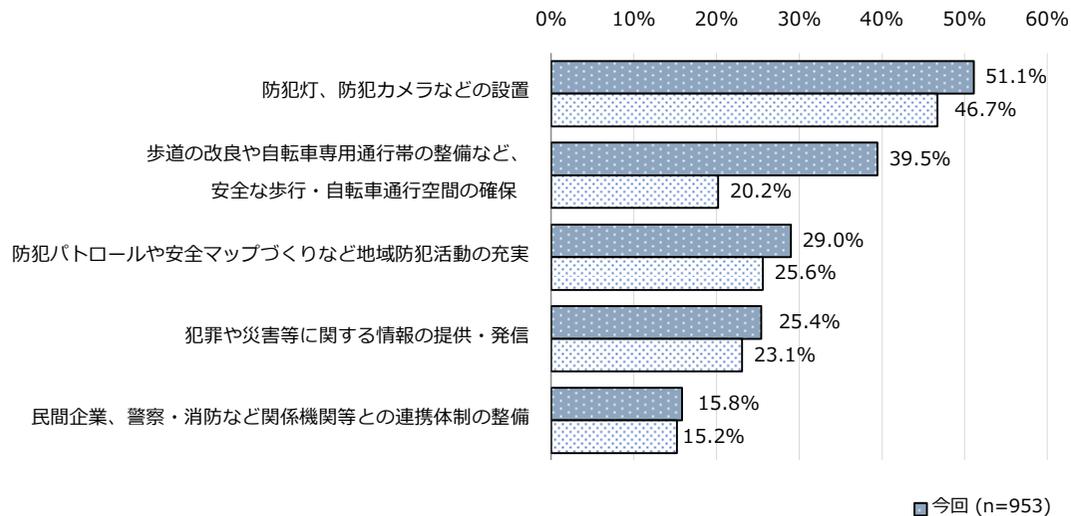
図表 3-107 健康づくりの推進 一部抜粋



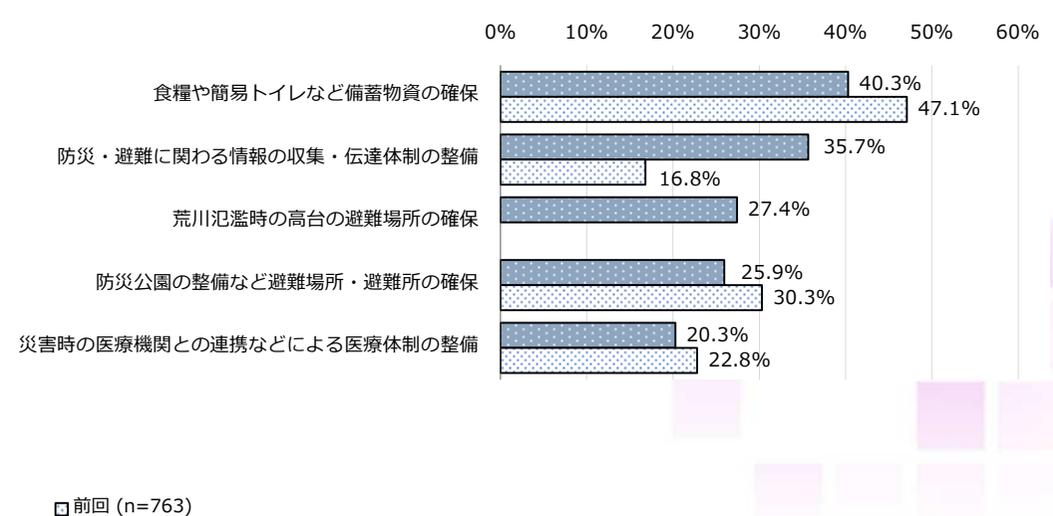
安全・安心

- ◆ 地域が『安全・安心だと感じる』割合は7割強だが、赤羽東地区ではやや低い。
- ◆ 地域の安全・安心のために『防犯灯、防犯カメラの設置』『安全な通行空間の確保』『地域防犯活動の充実』が求められている。
- ◆ 自然災害への家庭での備えとしては、「飲料水の備蓄」「食料の備蓄」「マスク・消毒液等感染症対策用品の準備」が上位。
- ◆ 自然災害対策では、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備」「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保」が求められている。

図表 3 135 安全・安心への取組み（経年比較） 一部抜粋



図表 3 139 自然災害に対する取組み（経年比較） 一部抜粋



区の経営改革（デジタル化）

図表 3 151 デジタル化への取組み

- ◆ 区政のデジタル化に向けて『オンライン手続き等の拡大』『マイナンバーカードの活用』『災害時の多様な情報提供』が求められている。
- ◆ 一方で、65歳以上では「特にない」と回答する割合も高い。
- ◆ 公共施設経費削減に向けて、『施設の統廃合』『民営化』『用途の見直し・廃止』が求められている。

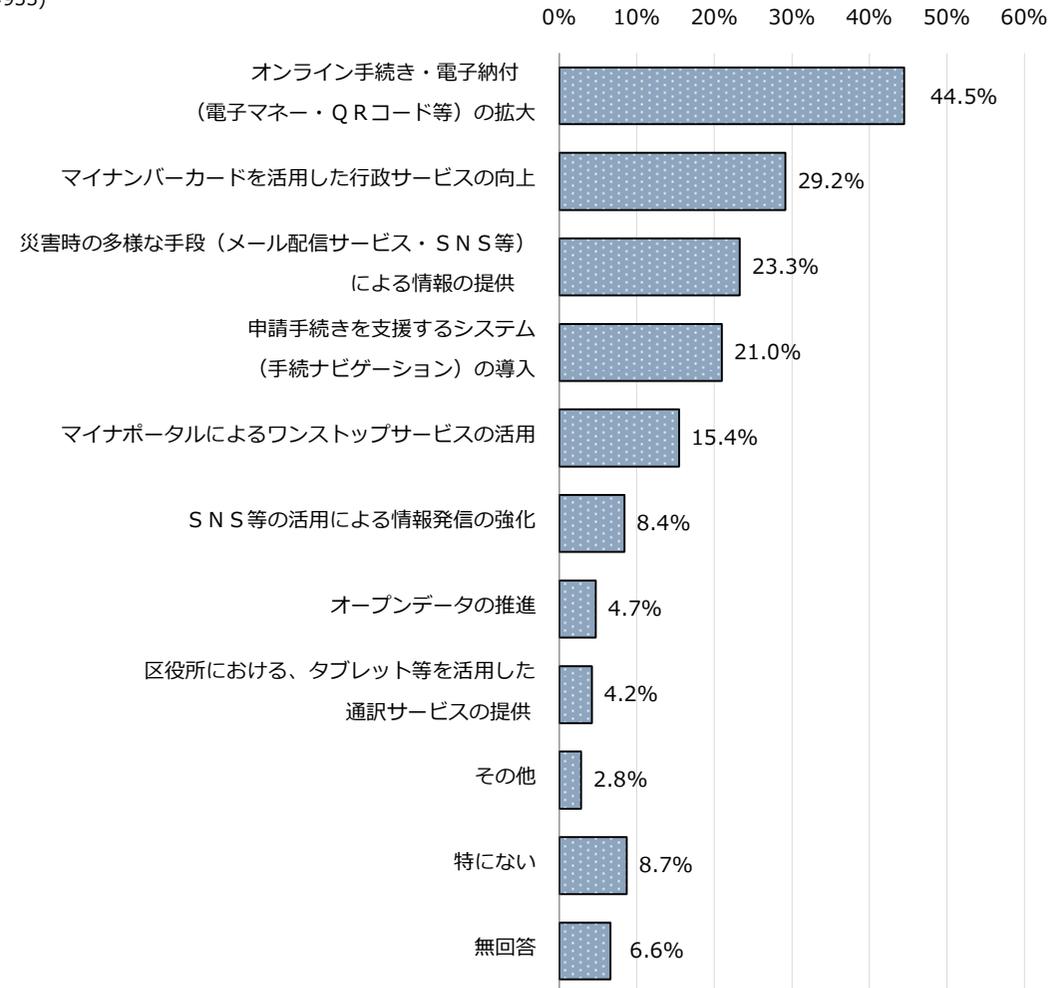
(n=953)

<デジタル化に向けて力をいれるべきこと>

◇デジタル化のため必要なこととして『オンライン手続きの拡大』が4割強

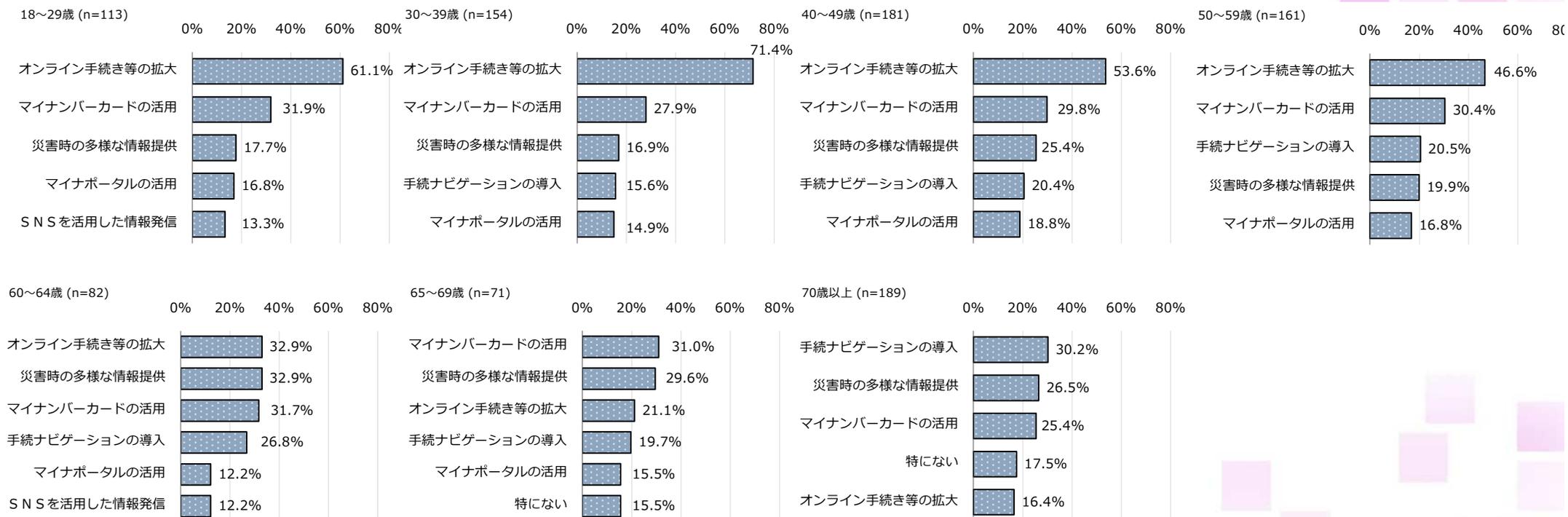
デジタル化のために力をいれるべきこととして、「オンライン手続き・電子納付（電子マネー・QRコード等）の拡大」が44.5%であり最も割合が高い。次いで「マイナンバーカードを活用した行政サービスの向上（29.2%）」「災害時の多様な手段（メール配信サービス・SNS等）による情報の提供（23.3%）」となった。

なお、年齢別にみると、65歳以上では、「特にない」の割合が他の年齢に比べ高くなっている。



デジタル化への取組み（年齢別）

図表 3 152 デジタル化への取組み（年齢別：上位 5 位）



アンケート実施結果

アンケート実施結果（職員・中学生・意識意向・Web）

	新規採用職員研修	区立中学校生徒Web	北区民意識・意向調査	Web
実施時期	令和3年5月18日～31日	令和3年6月8日～29日	令和3年6月4日～7月2日	令和3年7月15日～31日
回答者数	94名	3,674名	953名	1,136名
現在の北区のイメージ (3つ選択)	1. 自然が豊かである 2. 歴史や伝統が感じられる 3. 便利で住みやすい	1. 便利で住みやすい 2. 治安がよい 3. 自然環境に恵まれている	1. 便利で住みやすい 2. 自然環境に恵まれている 3. 治安がよい	1. 便利で住みやすい 2. 歴史や伝統が感じられる 3. 自然環境に恵まれている
2040年頃の北区の将来像(3つ選択)	1. 子育て環境が充実 2. 災害に強い 3. 文化・歴史を大切に	1. 便利で住みやすい 2. 災害に強い 3. 治安がよい	1. 便利で住みやすい 2. 治安がよい 3. 地域産業や商店などの活力にあふれている	1. 便利で住みやすい 2. 子育て・教育環境が充実している 3. 地域産業や商店などの活力にあふれている 3. 治安がよい
2040年の将来像のキーワード (自由記述)	1. 自然 2. 子育て 3. 住みやすい 4. 豊か 5. 子育てしやすい	1. 自然 2. 楽しい 3. 緑 4. きれい 5. 便利	—	1. 住みやすい 2. 活気 3. 子育てしやすい 4. 安心 5. 便利
<p>北区への愛着</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1. 感じる ■ 2. やや感じる ■ 3. どちらともいえない ■ 4. あまり感じない ■ 5. 感じない ■ 無回答 				

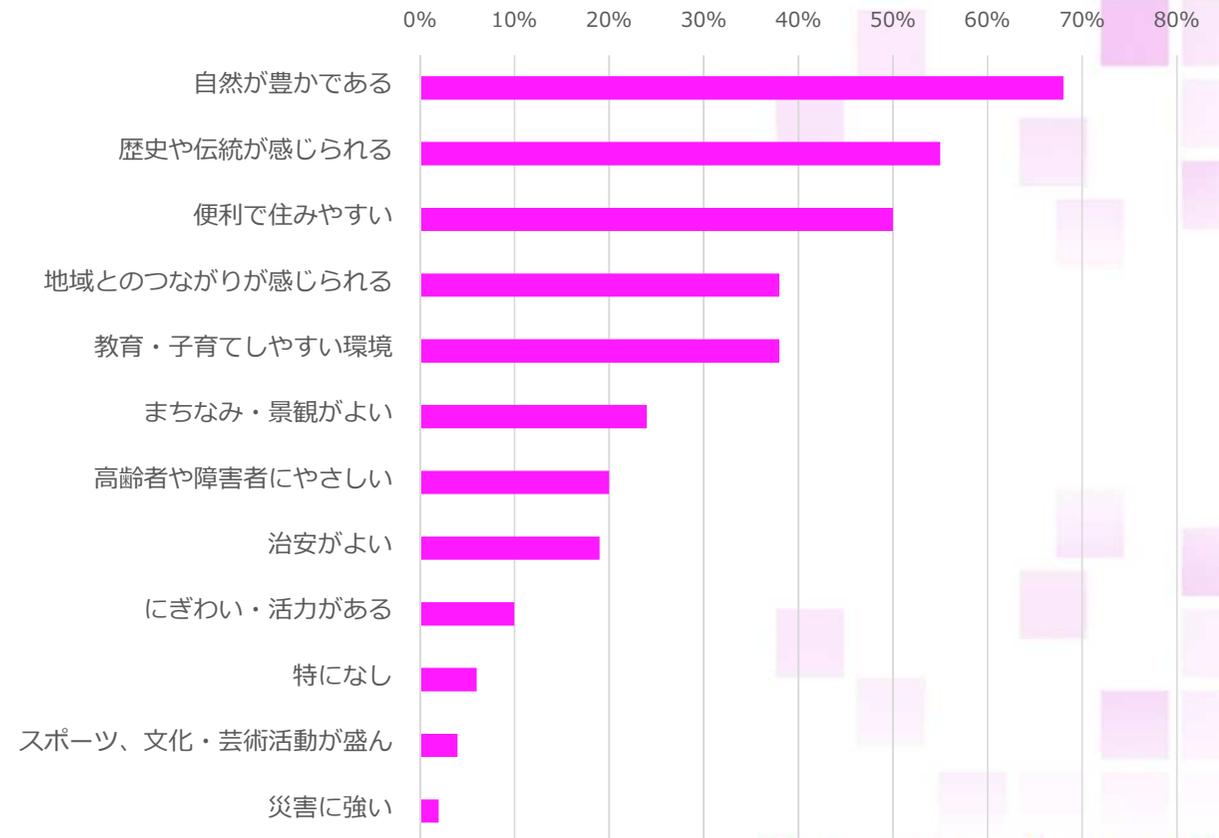
新任職員アンケート

新任職員が考える北区の将来イメージアンケート

Q1:現在の北区のイメージはどのようなものですか（最大3つ選択）

選択肢	回答数
自然が豊かである	64
歴史や伝統が感じられる	52
便利で住みやすい	47
地域とのつながりが感じられる	36
教育・子育てしやすい環境	36
まちなみ・景観がよい	23
高齢者や障害者にやさしい	19
治安がよい	18
にぎわい・活力がある	10
特になし	6
スポーツ、文化・芸術活動が盛ん	4
災害に強い	2

現在の北区のイメージ



北区基本構想

新任職員アンケート

新任職員が考える北区の将来イメージアンケート

Q2:2040年頃の北区の将来像についてあなたが連想するキーワード

キーワードトップ10

- 1.自然
- 2.子育て
- 3.住みやすい
- 4.豊か
- 5.子育てしやすい
- 6.高齢化
- 7.高齢者
- 8.環境
- 9.暮らし
- 10.安心



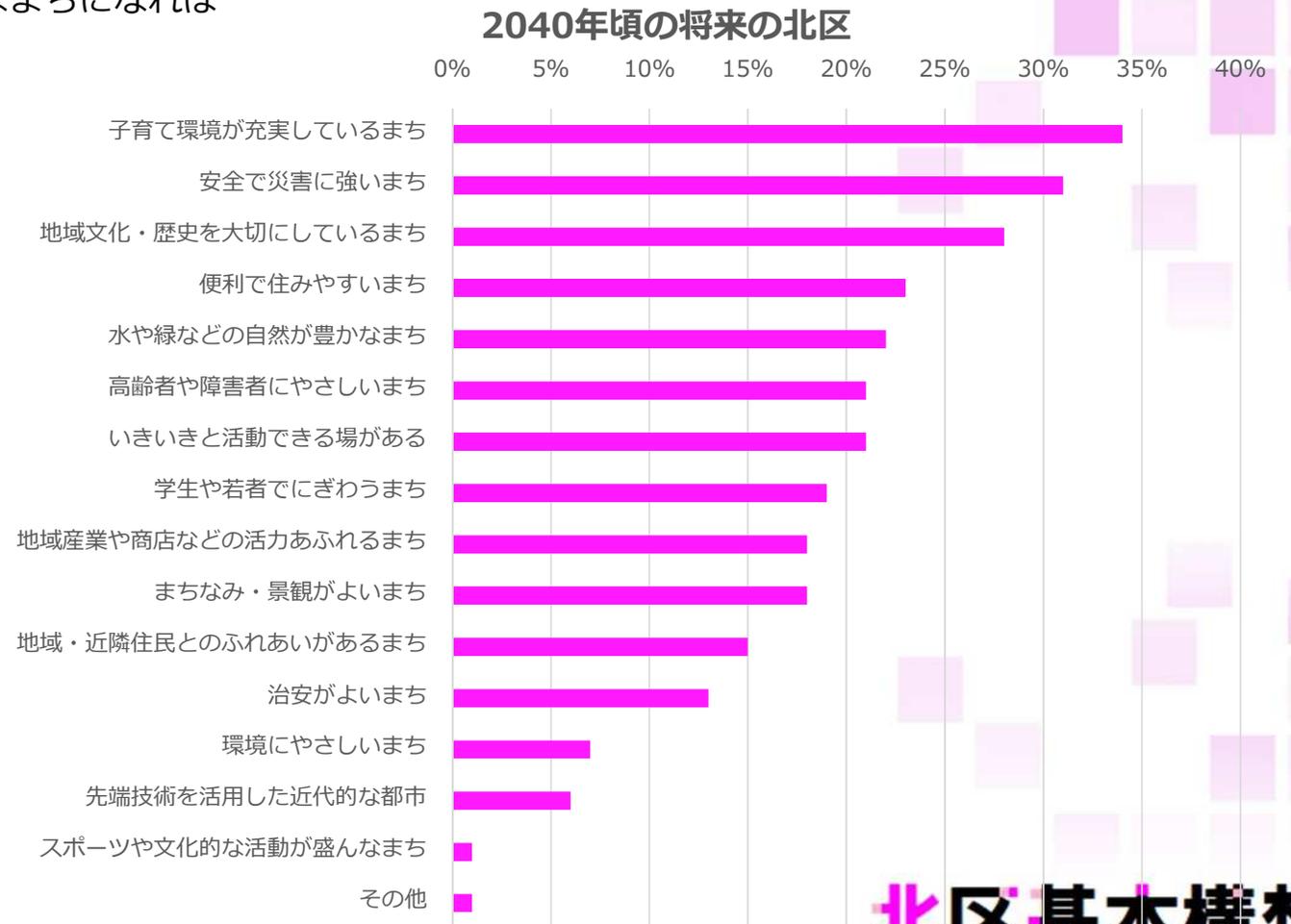
北区基本構想

新任職員アンケート

新任職員が考える北区の将来イメージアンケート

Q3：2040年頃の将来の北区はどのようなまちになればよいと思いますか（最大3つ選択）

選択肢	回答数
子育て環境が充実しているまち	32
安全で災害に強いまち	30
地域文化・歴史を大切にしているまち	27
便利で住みやすいまち	22
水や緑などの自然が豊かなまち	21
高齢者や障害者にやさしいまち	20
いきいきと活動できる場がある	20
学生や若者でにぎわうまち	18
地域産業や商店などの活力あふれるまち	17
まちなみ・景観がよいまち	17
地域・近隣住民とのふれあいがあるまち	15
治安がよいまち	13
環境にやさしいまち	7
先端技術を活用した近代的な都市	6
スポーツや文化的な活動が盛んなまち	1
その他	1
特になし	0



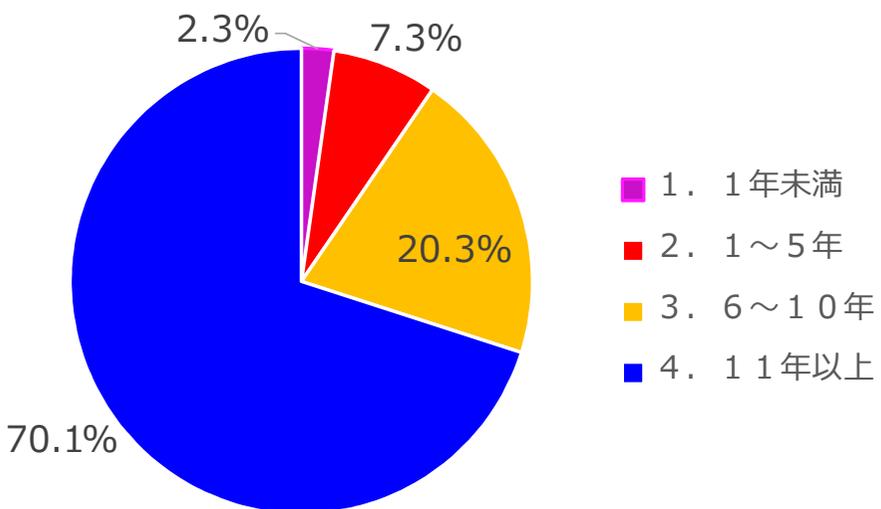
北区基本構想

中学生アンケート

北区の将来を考える中学生アンケート集計結果

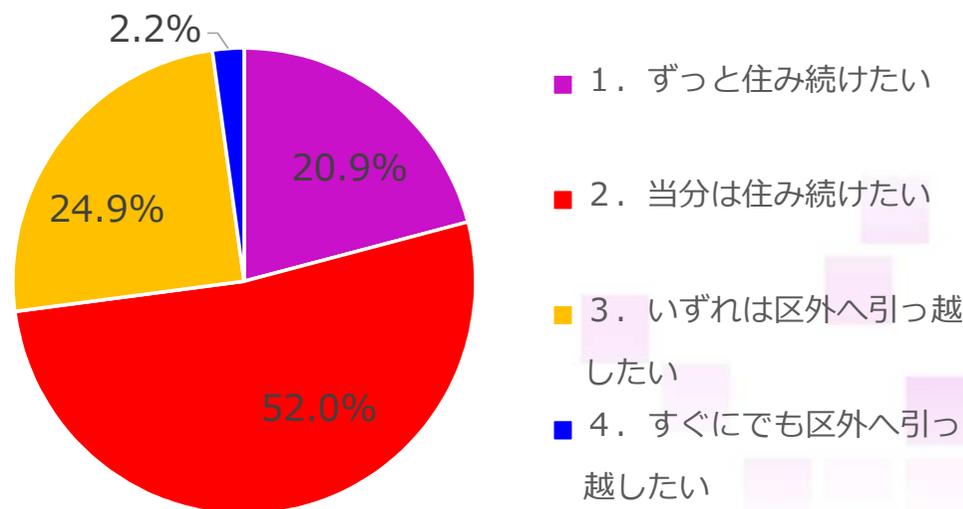
問1 あなたが北区に住んでいる年数を教えてください。

1. 1年未満	83
2. 1～5年	270
3. 6～10年	747
4. 11年以上	2,574
計	3,674



問2 あなたは、北区にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

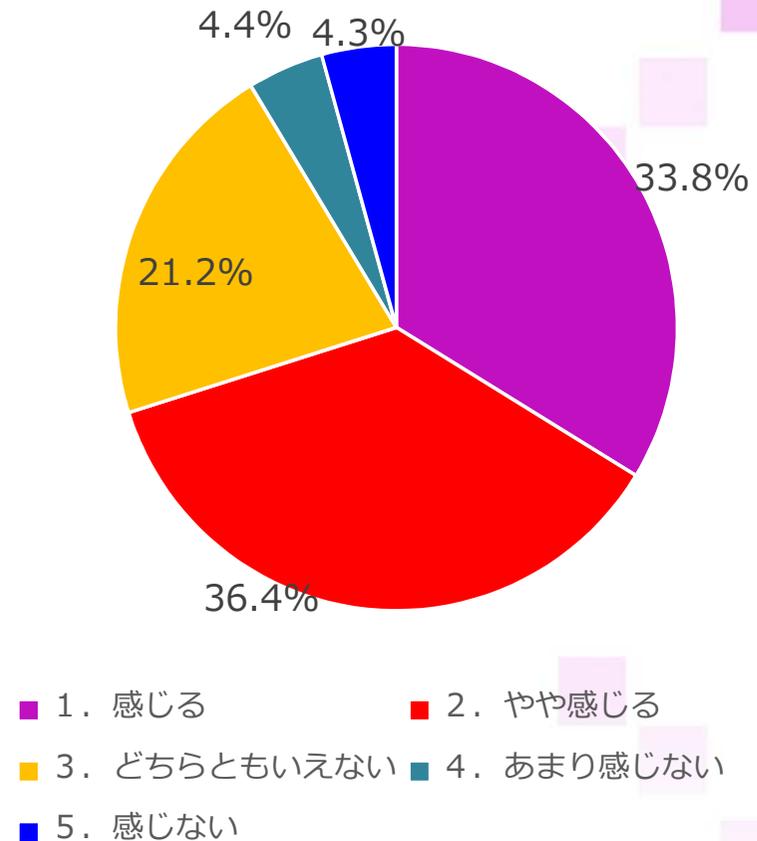
1. ずっと住み続けたい	768
2. 当分は住み続けたい	1,911
3. いずれは区外へ引っ越したい	914
4. すぐにでも区外へ引っ越したい	81
計	3,674



北区基本構想

北区の将来を考える中学生アンケート集計結果

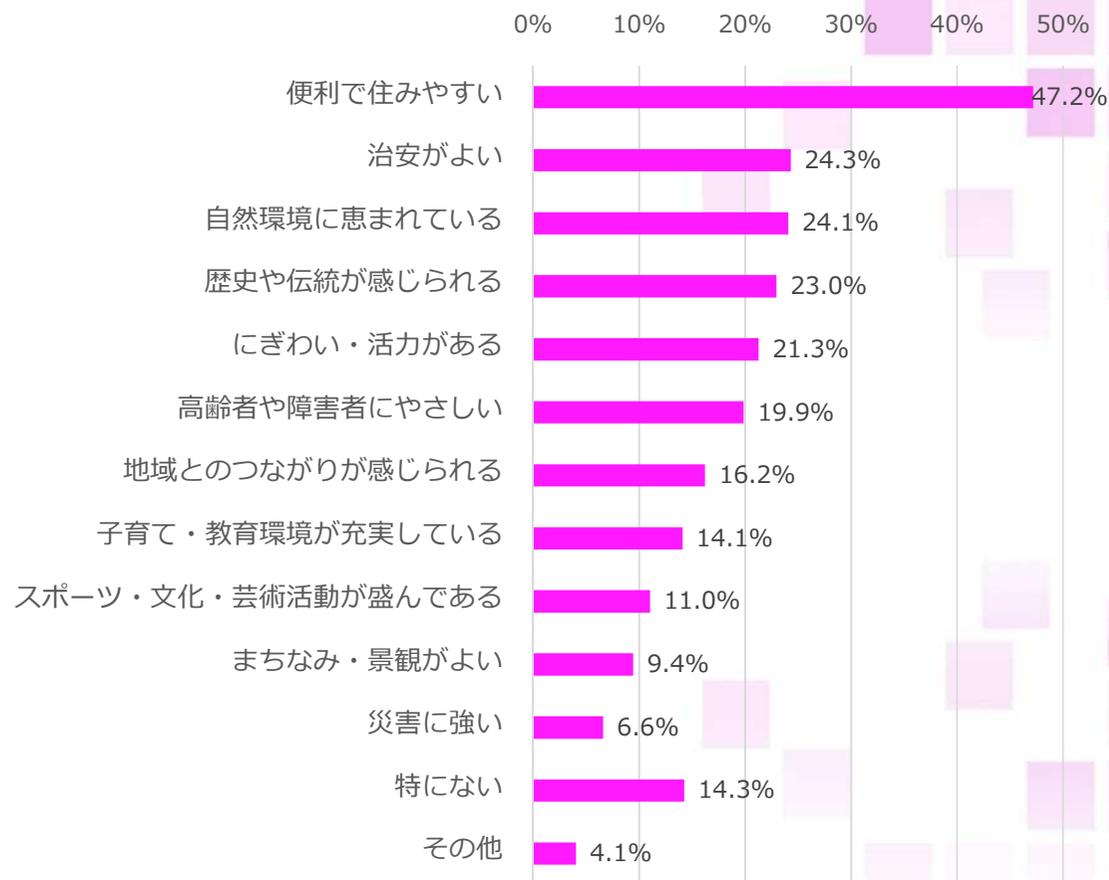
問3 あなたは、北区に愛着を感じますか。 次の中から1つだけ選んでください。	
1. 感じる	1,240
2. やや感じる	1,337
3. どちらともいえない	778
4. あまり感じない	161
5. 感じない	158
計	3,674



中学生アンケート

北区の将来を考える中学生アンケート集計結果

問4 あなたは、現在の北区にどんなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んでください。	
便利で住みやすい	1733
治安がよい	893
自然環境に恵まれている	885
歴史や伝統が感じられる	844
にぎわい・活力がある	782
高齢者や障害者にやさしい	730
地域とのつながりが感じられる	596
子育て・教育環境が充実している	518
スポーツ・文化・芸術活動が盛んである	405
まちなみ・景観がよい	347
災害に強い	243
特にない	524
その他	149

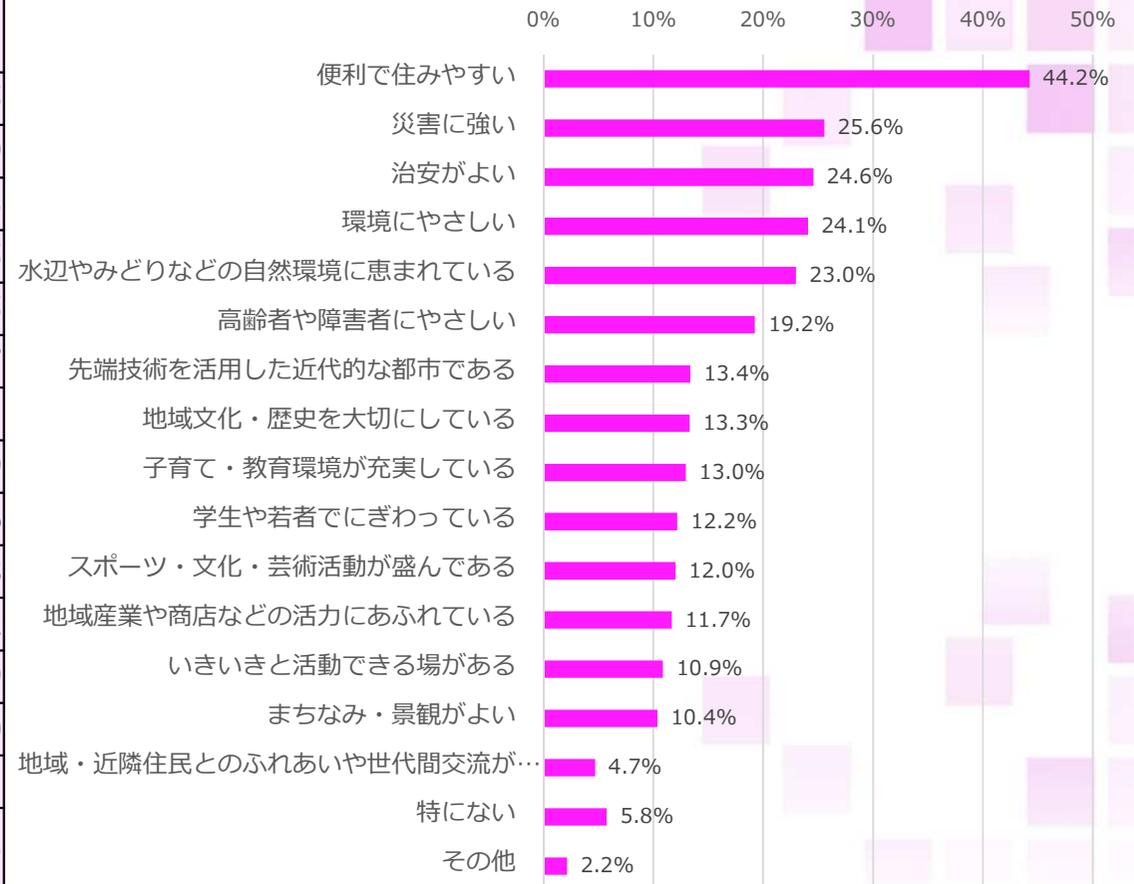


北区基本構想

中学生アンケート

北区の将来を考える中学生アンケート集計結果

問5 あなたは、2040年頃の将来の北区はどのようなまちになればよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。	
便利で住みやすい	1625
災害に強い	939
治安がよい	903
環境にやさしい	885
水辺やみどりなどの自然環境に恵まれている	845
高齢者や障害者にやさしい	707
先端技術を活用した近代的な都市である	491
地域文化・歴史を大切にしている	489
子育て・教育環境が充実している	476
学生や若者でにぎわっている	448
スポーツ・文化・芸術活動が盛んである	442
地域産業や商店などの活力にあふれている	429
いきいきと活動できる場がある	400
まちなみ・景観がよい	381
地域・近隣住民とのふれあいや世代間交流が活発である	173
特にない	212
その他	80



北区基本構想

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の概要

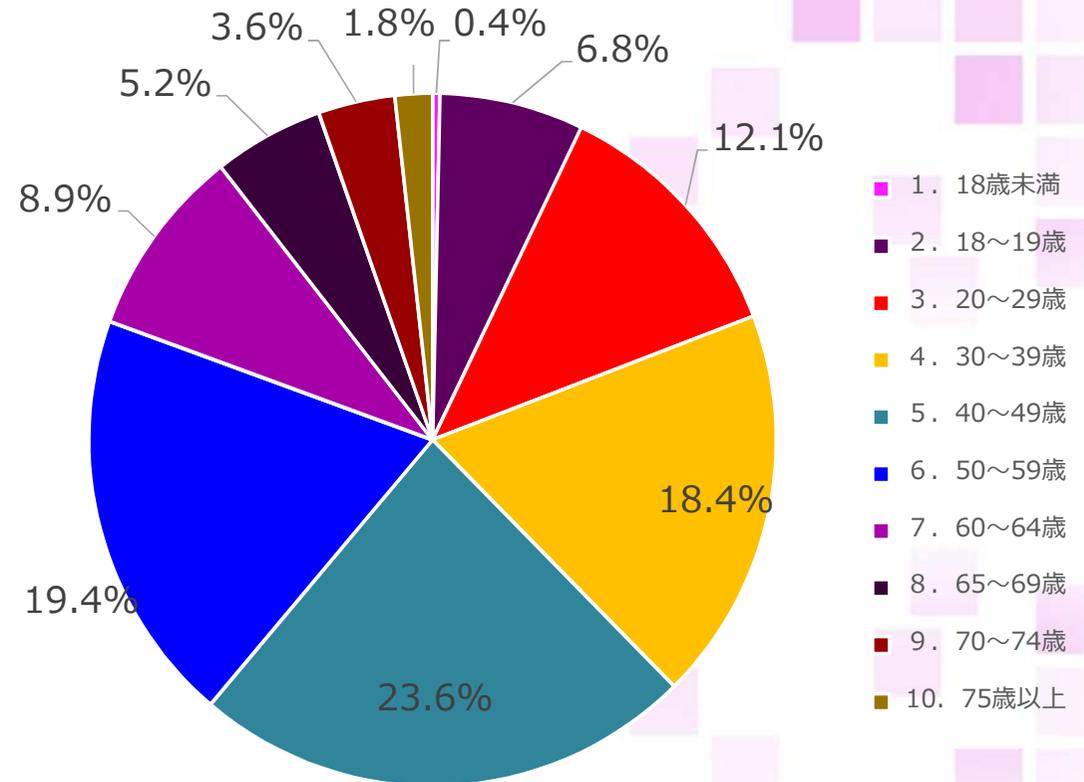
- **調査対象者**
北区居住者、北区に在勤・在学する者、その他北区に関わりのある者
- **調査期間**
令和3年7月15日から令和3年7月31日まで
- **周知に活用した媒体等**
 - ①北区ニュース ②北区公式ホームページ ③広報プラス ④北区公式Twitter
 - ⑤北区公式Facebook ⑥北区LINE公式アカウント
 - ⑦きたハピモバイル～予防接種スケジュールナビ～
 - ⑧ウォーキングアプリ「あるきた」
 - ⑨ココシル「トップアスリートのまち・北区 東京」
 - ⑩包括協定締結大学から学生等への連絡（メール・掲示物等による）
- **回答数**
1,136件

Webアンケート

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：あなたの年齢を教えてください。

1. 18歳未満	4
2. 18～19歳	77
3. 20～29歳	137
4. 30～39歳	209
5. 40～49歳	268
6. 50～59歳	220
7. 60～64歳	101
8. 65～69歳	59
9. 70～74歳	41
10. 75歳以上	20
計	1,136



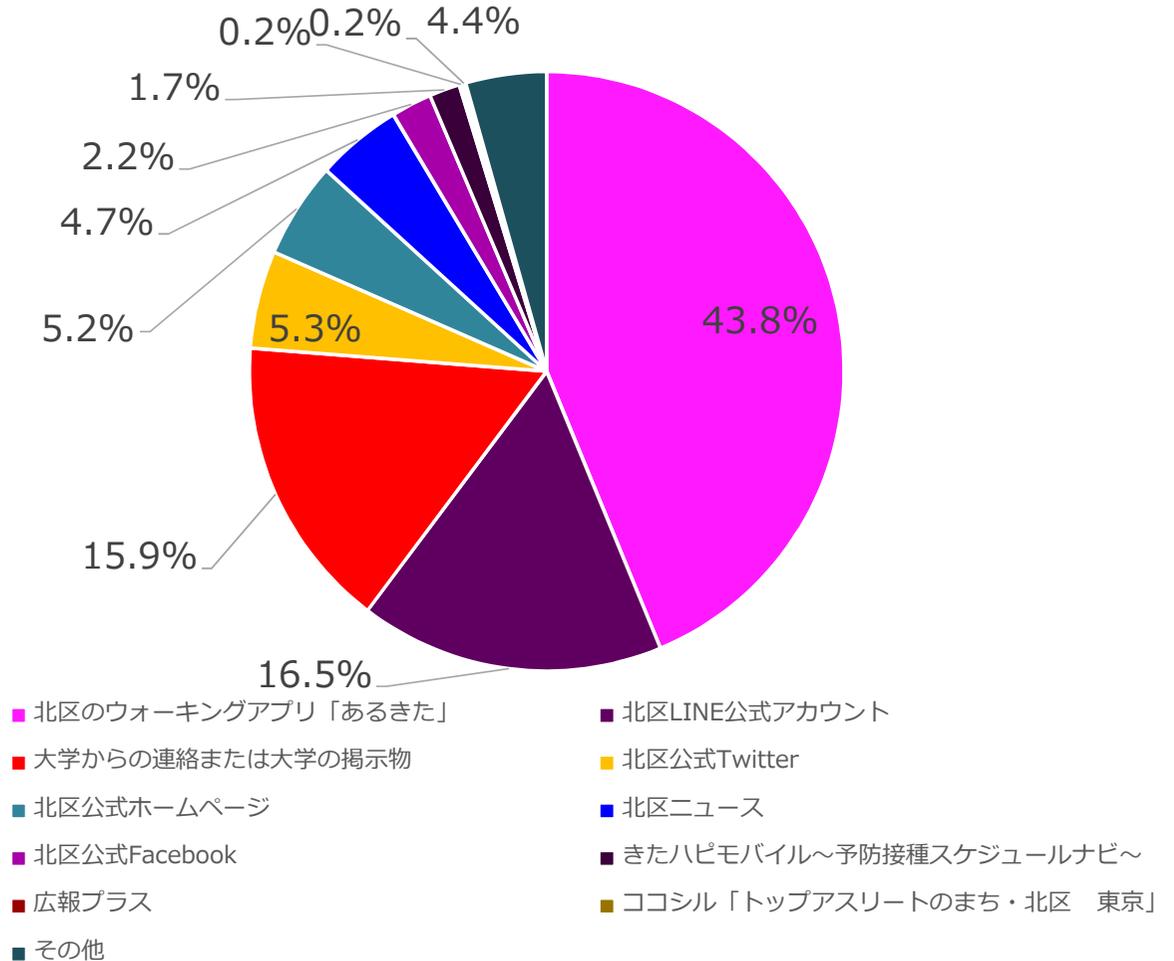
北区基本構想

Webアンケート

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：あなたは、このアンケートのことを何でお知りになりましたか。次の中から選択してください。

北区のウォーキングアプリ「あるきた」	497
北区LINE公式アカウント	188
大学からの連絡または大学の掲示物	181
北区公式Twitter	60
北区公式ホームページ	59
北区ニュース	53
北区公式Facebook	25
きたハピモバイル ～予防接種スケジュールナビ～	19
広報プラス	2
ココシル 「トップアスリーのまち・北区 東京」	2
その他	50
計	1,136

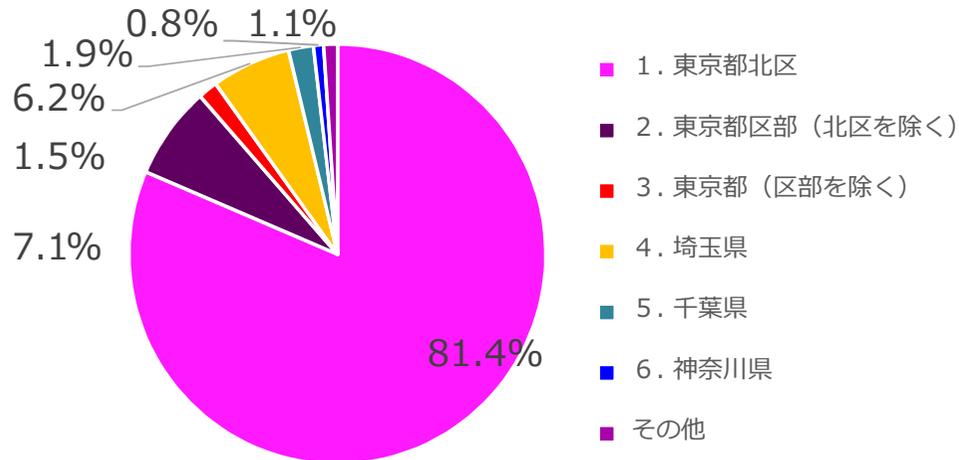


Webアンケート

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

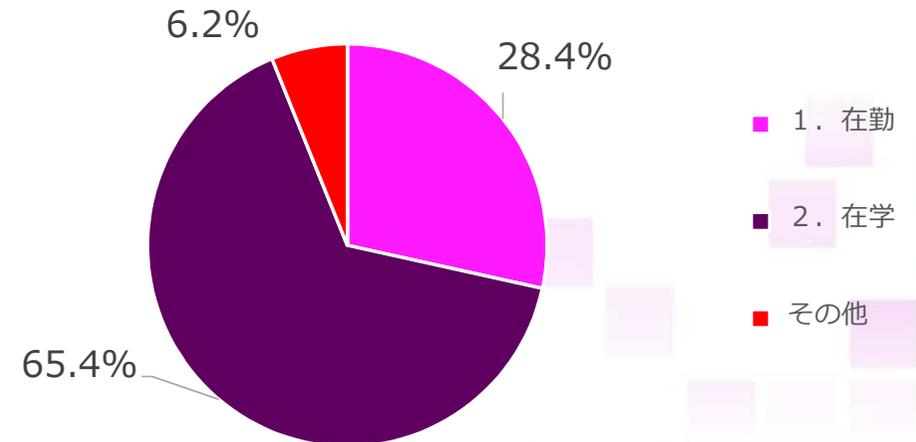
問：あなたがお住まいの場所を教えてください。

1. 東京都北区	925
2. 東京都区部（北区を除く）	81
3. 東京都（区部を除く）	17
4. 埼玉県	70
5. 千葉県	22
6. 神奈川県	9
その他	12
計	1,136



問：前の質問で「1. 東京都北区」以外を回答された方に伺います。北区との主な関わりを教えてください。

1. 在勤	60
2. 在学	138
その他	13
計	211

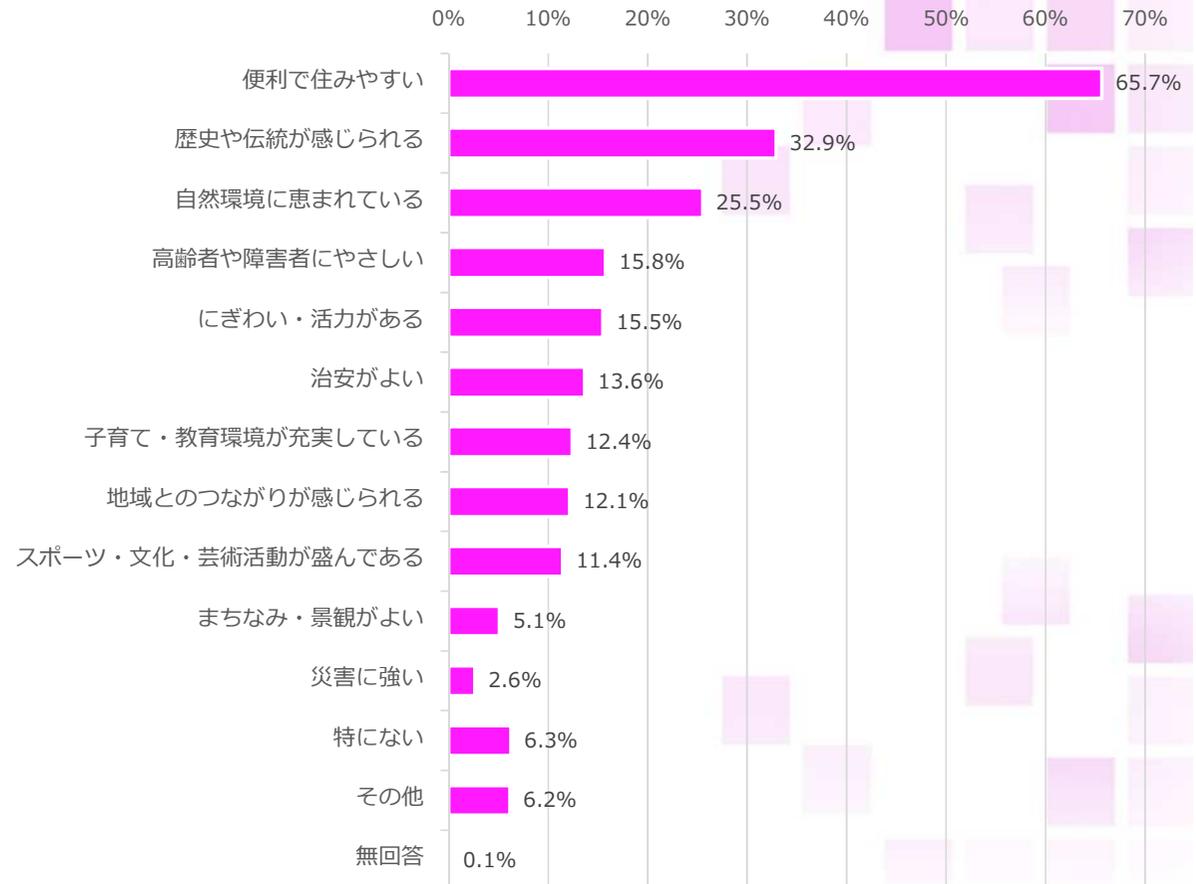


北区基本構想

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：あなたは、現在の北区にどのようなイメージを持っていますか。3個まで選択可能です。

便利で住みやすい	746
歴史や伝統が感じられる	374
自然環境に恵まれている	290
高齢者や障害者にやさしい	179
にぎわい・活力がある	176
治安がよい	155
子育て・教育環境が充実している	141
地域とのつながりが感じられる	138
スポーツ・文化・芸術活動が盛んである	130
まちなみ・景観がよい	58
災害に強い	30
特にない	71
その他	70
無回答	1

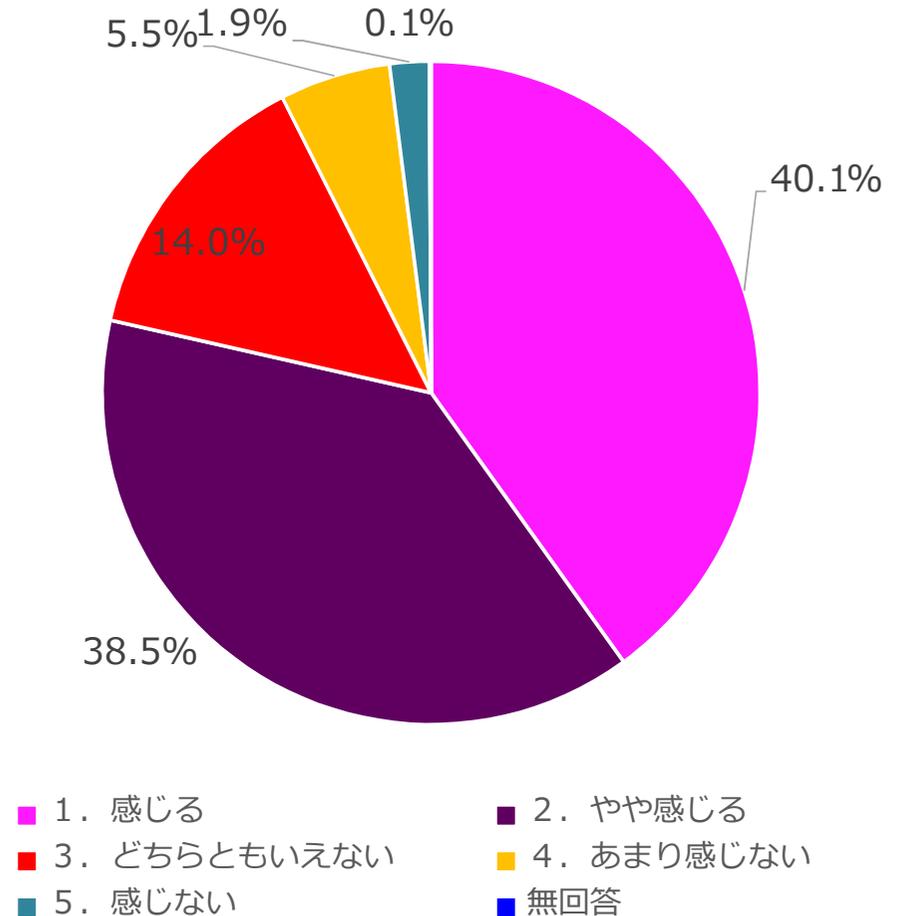


北区基本構想

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：あなたは、北区に愛着を感じますか。
あなたの考えに最も近いものを次の中から選択してください。

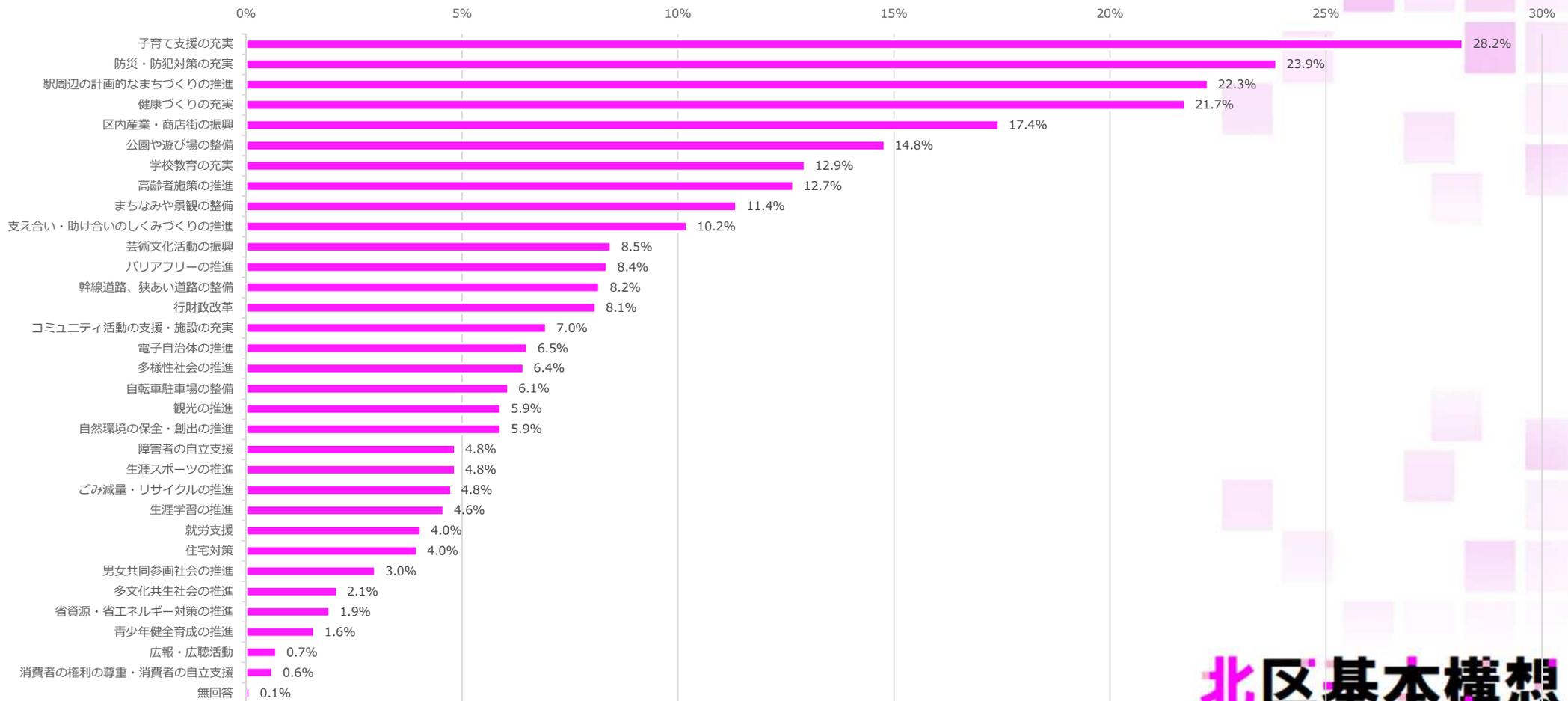
1. 感じる	455
2. やや感じる	437
3. どちらともいえない	159
4. あまり感じない	62
5. 感じない	22
無回答	1
計	1,136



Webアンケート

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：北区が取り組んでいる施策の中で、あなたが、今後、特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。3個まで選択可能です。



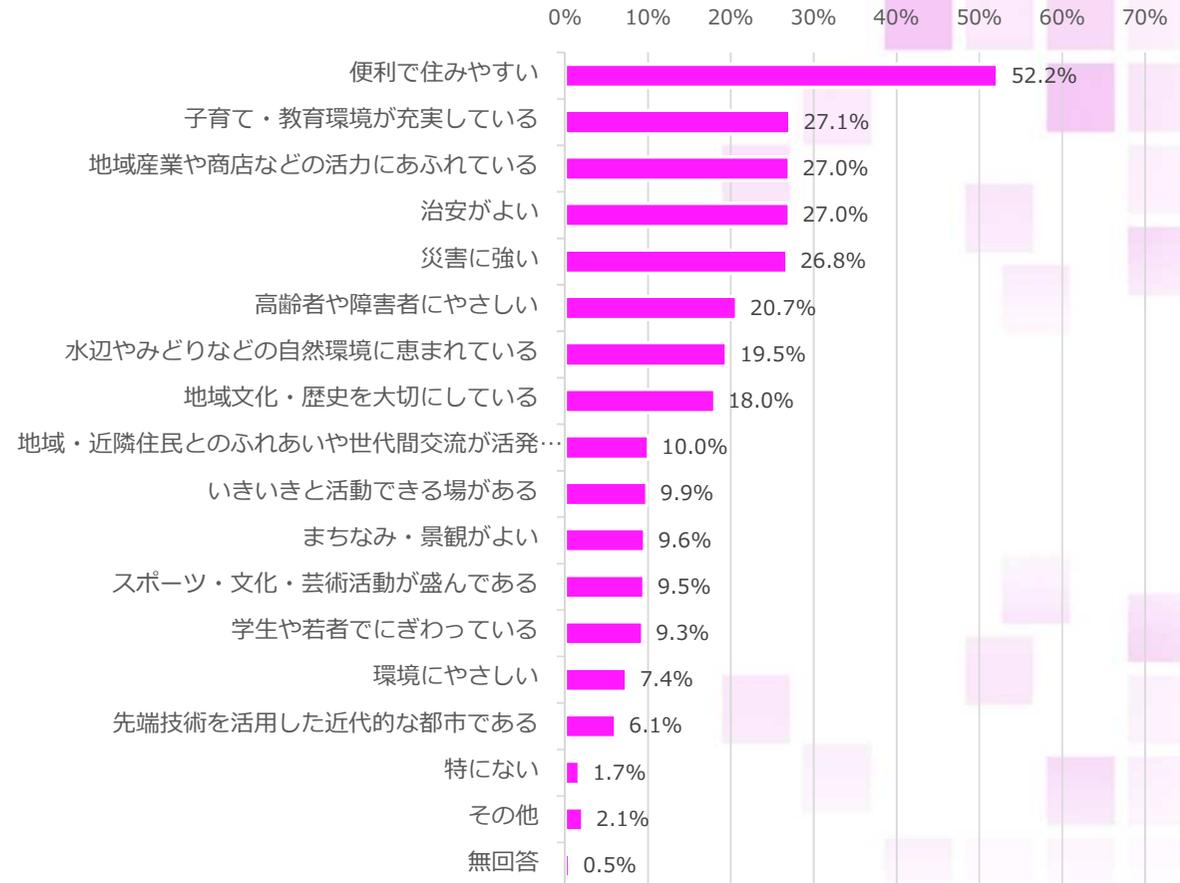
北区基本構想

Webアンケート

「みんなで北区の将来を考えるWebアンケート」の集計結果

問：あなたは、2040年頃の将来の北区がどのようなまちになればよいと思いますか。3個まで選択可能です。

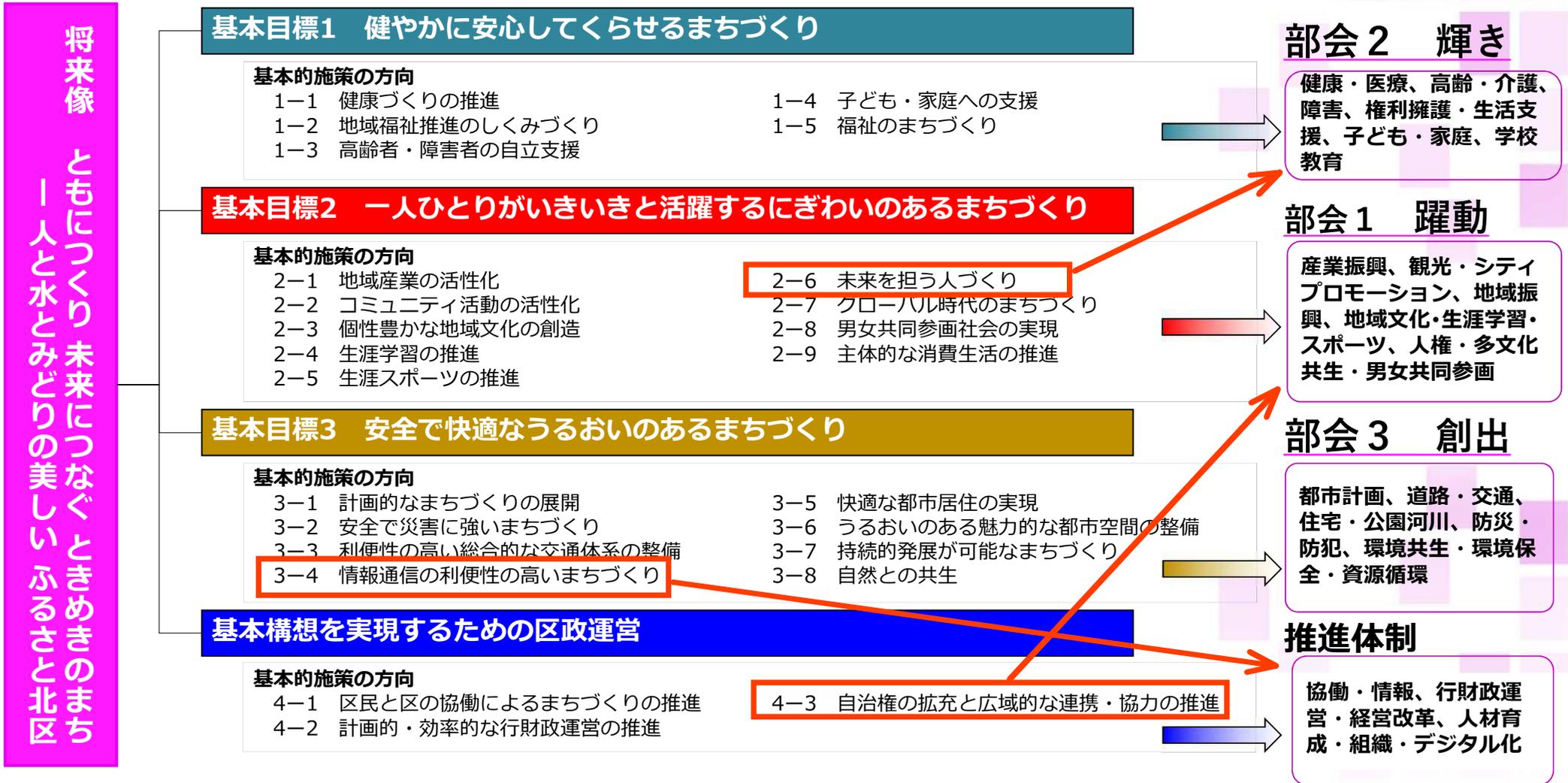
便利で住みやすい	593
子育て・教育環境が充実している	308
地域産業や商店などの活力にあふれている	307
治安がよい	307
災害に強い	304
高齢者や障害者にやさしい	235
水辺やみどりなどの自然環境に恵まれている	221
地域文化・歴史を大切にしている	205
地域・近隣住民とのふれあいや世代間交流が活発である	114
いきいきと活動できる場がある	112
まちなみ・景観がよい	109
スポーツ・文化・芸術活動が盛んである	108
学生や若者でにぎわっている	106
環境にやさしい	84
先端技術を活用した近代的な都市である	69
特にない	19
その他	24
無回答	6



北区基本構想

各部会で議論する基本的施策の方向（政策）について

基本構想・基本計画に掲げた25の基本的施策の方向を、19の基本的施策の方向（政策）へ再編。



1 当該分野の実績と成果

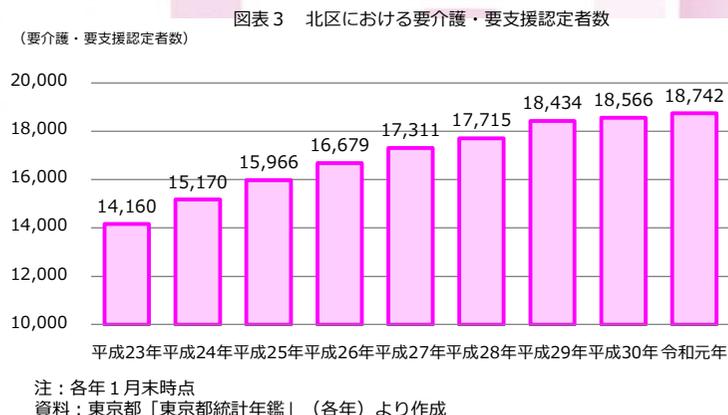
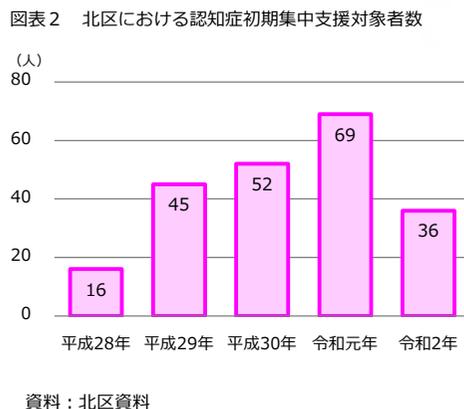
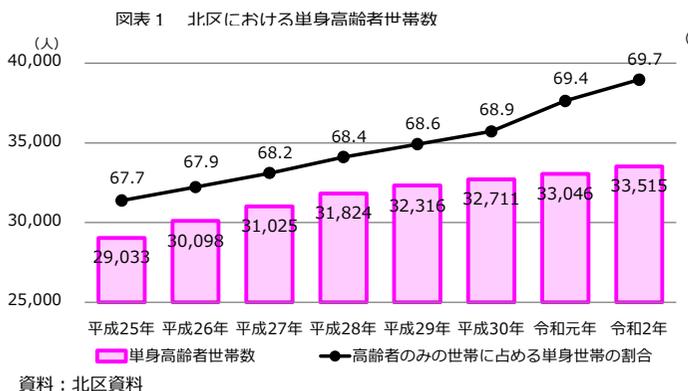
項目	主な実績	主な成果
(1) 豊かなシニアライフ	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者あんしんセンター」を核とした、「おたがいさまネットワーク」により、重層的な見守りの実施。おたがいさま地域創生会議、北区地域包括ケア連絡会、地域ケア個別会議を開催。 医療依存度の高い高齢者や介護・医療サービスにつながらない高齢者の相談対応などの対応を行う高齢者あんしんサポート医事業を実施 (H27からR1までに176件)。 コミュニティソーシャルワーカー (CSW)を東十条・神谷地域及び桐ヶ丘地域に配置。 多様な社会参加・地域参加促進のためのワンストップ窓口として「いきがい活動センター (きらりあ北)」を開設し、ジョブコーディネーターを配置。 在宅医療・介護連携に関する相談支援として高齢者あんしんセンターサポート医事業を実施。 小規模多機能型居宅介護を1ヶ所 (計3ヶ所)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を2ヶ所整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者あんしんセンター」の認知度向上 (H28 44.1%→R1 48.2%)。 「おたがいさまネットワーク」協力団体数の増加 (H27 1,154団体→R2 1,234団体)。 「いきいきサポーター制度」のボランティア登録者数の増加 (H27 538人→R1 878人)。 「いきいきサポーター制度」受け入れ施設数の増加 (H27 42施設→R2 90施設)。
(2) 認知症支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者グループホームを2ヶ所 (計16ヶ所) 整備。 認知症に関する正しい知識と理解を深める普及啓発を推進するため、認知症サポーター養成講座を開催し、延べ27,308人が受講。 認知症カフェを定期的に開催。(H27 10か所93回開催→R1 29か所298回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成数の増加 (H27延べ16,212人→R2延べ27,308人)。 認知症カフェ参加人数の増加 (H27 1,634人→R1 4,451人)。
(3) 介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材の確保のため、「福祉のしごと総合フェア」を年3回開催。 福祉資格取得のための研修や受験料の補助等、福祉人材の育成支援を実施。(R2実績21件) 民間特別養護老人ホームの整備について、2施設に対し補助金を交付。(270床を開設) 区立特別養護老人ホーム1施設の改修工事に着手。 民間老人保健施設の整備について、1施設に対し補助金を交付。(40床を開設) 民間都市型軽費老人ホームの整備について、2施設に対し補助金を交付。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉現場への就職の促進 (H27からR1までに218名)。 特定養護老人ホームの定員数の増加 (H27 1,113人→R2 1,318人)。 都市型軽費老人ホームの定員数増加 (H27 40人→R2 80人)。

2 当該分野における区を取り巻く環境の変化

社会経済動向	法制度や国・都の政策の変化	区民のニーズや行動の変化
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に団塊の世代が75歳を超過。 単身高齢者の増加、近所づきあいの減少等により、高齢者の孤立が懸念。 人々が抱える課題の複雑化・複合化により、属性ごとの支援のみでは不十分な状況。 高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、介護サービスの安定的な供給が困難。慢性的な人材不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を提唱。 平成30年2月に閣議決定された高齢社会対策大綱は、全ての年代の人々が意欲・能力をいかして活躍するエイジレス社会の実現、地域における生活基盤を整備し、人生のどの段階でも高齢期の暮らしを具体的に描ける地域コミュニティの創設が基本的考え方。 令和3年4月の社会福祉法の改正により、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する、属性によって分断しない包括的な支援体制を整備するため、「重層的支援体制整備事業」が創設。 令和3年4月に施行された改正高齢者雇用安定法により、65歳までの雇用確保が義務化、70歳までの就業確保も努力義務化。 令和元年6月に認知症施策推進関係閣僚会議にて決定された認知症施策推進大綱は、「共生」と「予防」を両輪とした施策を推進。 国は、介護サービス等基盤の整備交付金、施設整備用地の確保のための支援のほか、福祉人材確保のための総合的な対策を創設。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性に応じた地域包括ケアシステムへのニーズが顕在化。 ちょっとした困りごとの支援や、複雑・多様化した困りごとの支援に対するニーズが顕在化。 介護者の負担が増大。介護者や家族の負担に対する心のケアと長期的な支援への需要。 後期高齢者の増加に伴う、医療と介護の両方のニーズが増大。 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策や入居者のプライバシー配慮に対するニーズの増大。

3 区の現状

項目	現状
(1) 豊かなシニアライフ	<ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者世帯数は増加傾向。 属性ごとに区切られた支援体制となっており、孤立による課題や既存の制度やサービスだけでは解決が困難な地域の福祉課題が存在。 在住外国人の高齢化が見込まれ、生活ニーズ及び介護ニーズが多様化。 高齢者の地域活動への参加実績や参加意向は増加傾向。
(2) 認知症支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症発症者数は増加傾向(令和7年度には認知症高齢者の推計は12,127人)。
(3) 介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> 「団塊の世代」が後期高齢者となりつつあり、介護ニーズが増大しているが、介護サービスの担い手である現役世代は減少傾向。 介護職員をはじめとした福祉人材の確保に窮しているほか、介護現場における作業の負担感等から職員の離職が増大。 高齢者人口は緩やかな減少傾向であるが、後期高齢者人口及び要介護認定者数は増加傾向にあり、施設需要は依然として高い状況。 区立特別養護老人ホームは、老朽化の進行により、安定した施設運営の確保のためには計画的な改修の検討が必要な状況。



4 今後の課題

- ◆ 高齢者の孤立を防ぐため、関係団体が連携し、地域で支える重層的なしくみを構築することが必要。
- ◆ 住民の多様化・課題の多様化に応じた総合的な相談支援体制の構築が必要。
- ◆ 高齢でも本人の意向に即した就業の支援、社会参加支援、地域参加支援が必要。
- ◆ ICTを活用した事業への参加促進のため、高齢者に対するICT活用支援が必要。
- ◆ 住み慣れた地域で介護サービスが受けられる地域包括ケアシステムの構築が必要。
- ◆ 認知症発症者数の増加に伴い、早期支援や地域支援の仕組みづくりが必要。
- ◆ 高齢化の進展を受け、福祉人材を確保し、質の高いサービスを提供していくことが課題。加えて、介護従事者の処遇改善、定着に向けた取組みも必要。
- ◆ 区立特別養護老人ホームや経費老人ホームの適切な維持管理が必要。また、医療的措置や看取りなど多様化するニーズに対応した施設整備や福祉人材確保が必要。

5 取組の方向性

- ▶ 地域の連携・協働を支える北区社会福祉協議会の活動支援及び、「高齢者あんしんセンター」を核としたネットワークの構築。
- ▶ 既存制度の狭間で困る区民を支援するコミュニティソーシャルワーカーの設置。
- ▶ 「いきがい活動センター事業」を通じた、地域の担い手育成及び高齢者の就業・地域活動支援。「いきいきサポーター制度」による、高齢者のボランティア活動支援。
- ▶ ICT機器操作方法等の学習機関の提供、ICTを使用できない人への支援方策検討。
- ▶ 小規模多機能型居住介護、定期巡回・随時対応型訪問介護等の整備誘導。
- ▶ 認知症カフェや認知症サポーター養成講座、認知症月間等の様々な事業・機会を通じた認知症に関する普及・啓発の推進。
- ▶ ハローワーク等と連携した区内事業者の介護従事者確保。区内事業者の研修事業支援や、介護従事者の負担軽減・作業効率向上のための介護ロボットやICT機器の導入。
- ▶ 適切な施設整備・中長期的な改修及び東京都や教育機関と連携した人材確保対策。

6 あるべき姿・将来像

・・・今後の審議会の議論により具体化していきます

○部会まとめ作成イメージ

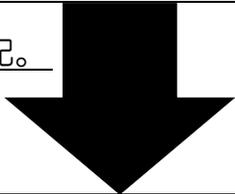
部会2 輝き

「高齢・介護」 分野 20年後の望ましい姿

1. 審議会での主な意見

- ・地域包括ケアシステムにおいては、官民の情報連携が必要。
- ・認知症は治らない病気なので、これとどのように付き合っていくかということが大事。
- ・高齢者の住まいの問題は、しっかりと対策を立てていく必要がある。
- ・介護現場で働く人の育成・確保が必要。

※審議会（部会）いただいた意見を箇条書きで列記。



2. 20年後の望ましい姿

誰もが住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けることができる環境が整っています。

区民一人ひとりの尊厳が守られ、誰もが社会の大切な一員として生きがいを持って活躍し、自分らしく生活を営んでいます。

※審議会（部会）でいただいた意見に基づき、この分野における20年後の望ましい姿を各部会で作成。

第5章 将来像実現のための基本的施策の方向

第1 健やかに安心してくらするまちづくり

区民生活の目標の一つは、だれもが自分らしい生き方を自ら選び、自立した生活を送りながら、地域社会の中でともに健やかに安心して暮らしていくことです。

健康は、区民が健やかに安心して暮らしていくための基盤です。人生80年時代にあって、高齢期の寝たきりや痴呆を予防し健康寿命を延ばしていくために、若いときから自分の健康に関心を持ちながら生活を送ることが重要となっています。

そのため、健康づくりの重要性を認識し、区民一人ひとりが自ら楽しく継続的に健康づくりに取り組めるよう環境を整備して、区民の健康づくりを推進します。

一方、少子高齢化の進行とともに家族の小規模化が進み、子育てや介護などを家族で担うことがますます難しくなってきました。だれもが住み慣れた地域で安心して充実した生活を送るには、これまで以上に子育てや介護などを社会的に支援することが求められます。福祉サービスを必要とするだれもが、適切な負担のもとに、公平に利用できるようにすることが大切です。安心して必要なとき必要なサービスを自ら選択し利用できるよう、区は、民間事業者や市民活動団体などと連携し、区民が利用しやすいサービス提供体制を実現していくことが必要となっています。

また、人と人との交流の中で、だれもが、個々の持てる力を生かしあい支えあうことも大切です。

ともに、支えあい助けあい、あたたかい心の交流のある地域社会をめざして、区は、区民、ボランティア・市民活動団体などと連携、協働し、地域福祉推進のしくみづくりを進めます。そして、高齢者や障害者がいきいきと充実した生活を送れるよう自立を支援します。また、安心して子どもを生き育て、すべての北区の子どもたちが健やかに成長するよう、子育て支援を充実するとともに、あたたかく子どもたちを見守る地域社会づくりを進めます。

さらに、だれもが活動しやすいまちをつくるため、バリアフリーのまちづくりを進めるとともに、人々の心に思いやりの心を育み、気軽に声をかけあい助けあえる、思いやりのある福祉のまちづくりを推進します。

1 健康づくりの推進

だれもが、生涯を健康で明るく暮らすには、日頃から、自らの健康に関心を持ち、栄養、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけ生活することが重要です。区民一人ひとりの心と体の健康づくりを支援するとともに、区民の健やかな生活を支える保健・医療体制を充実します。

基本的施策の方向以下は、全て基本計画へ盛り込んでいく予定。（令和4年度以降、審議会議論）

(1) 健康づくりの支援

区民が、身近なところで、いつでも楽しく健康づくりに取り組めるよう環境を整備し、生涯にわたる心と体の健康づくりを支援します。

また、区民一人ひとりが、自ら生活習慣を見直し改善できるようきめ細かな支援を行い、生活習慣病や高齢期の寝たきり、痴呆を予防します。

心身機能の低下した人々の生活圏の拡大や社会参加を促進するため、地域リハビリテーション活動を充実します。

(2) 保健・医療体制の充実

安心して適切な医療サービスを受けられるよう、かかりつけ医を中心とした地域医療システムの整備を図ります。また、ライフステージに合わせ、地域に密着したきめ細かな保健サービスを提供できるよう、地域保健活動体制を充実します。

さらに、脳血管疾患やがんなどの生活習慣病を予防するとともに、早期に発見し、早期治療に結びつけるため、健診・相談体制を充実します。

安全で健康的な生活環境の確保にも努めます。

2 地域福祉推進のしくみづくり

ともに、支えあい助けあい、あたたかい心の交流のある地域社会をめざして、区は、区民、ボランティア・市民活動団体などと連携、協働し、地域福祉推進のしくみづくりを進めます。また、だれもが安心して必要なときに、適切なサービスを自ら選んで利用できるよう、利用者本位のサービス提供体制を整備します。さらに、サービス利用者などの権利擁護のしくみづくりに取り組みます。

(1) 区民主体の福祉コミュニティづくり

地域の人々を中心とした支えあいのしくみづくりを進めるとともに、福祉コミュニティを形成するため、支えあいの交流を促進します。また、多くの区民に支えられた地域に根ざした福祉を推進するため、ボランティア活動への参加を促進するとともに、ボランティア・市民活動団体などの活動を支援します。

区民をはじめとして、ボランティア・市民活動団体などととも、あたたかい心の交流のある北区らしい豊かな福祉文化を育みます。

(2) 利用者本位のサービスの提供

適切な負担のもとで、多様なメニューから必要なサービスを自ら選んで利用できるよう、利用者本位のサービス提供体制を整備します。

利用者の多様なニーズに対応するため、民間事業者、市民活動団体などと連携し、多様

第1回北区基本構想審議会 部会1「躍動」次第

令和3年11月17日(水) 18時30分

審議会終了後

北とぴあ15階 ペガサスホール

1 開会

2 次回以降のスケジュールについて

3 その他

4 閉会

審議会開催スケジュール

【部会1 躍動】

回	期日	審議内容
第1回	令和3年11月17日	<ul style="list-style-type: none">・部会の進め方・部会スケジュール
第2回	令和3年12月13日 北区役所別館（2階） 研修室 10時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・産業振興・観光・シティプロモーション
第3回	令和4年1月25日 北区役所（4階） 第二委員会室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・地域振興・人権・多文化共生・男女共同参画
第4回	令和4年2月25日 北区役所別館（2階） 研修室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・地域文化・生涯学習・スポーツ・その他
第5回	令和4年4月	まとめ（分野全般）

第1回北区基本構想審議会 部会2「輝き」次第

令和3年11月17日(水) 18時30分

審議会終了後

北とぴあ15階 ペガサスホール

1 開会

2 次回以降のスケジュールについて

3 その他

4 閉会

審議会開催スケジュール

【部会2 輝き】

回	期日	審議内容
第1回	令和3年11月17日	<ul style="list-style-type: none">・部会の進め方・部会スケジュール
第2回	令和3年12月20日 北区役所別館（2階） 研修室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・健康・医療・権利擁護・生活支援
第3回	令和4年 1月28日 岸町ふれあい館（3階） 第五集会室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・高齢・介護・障害
第4回	令和4年 2月14日 北区役所（4階） 第二委員会室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none">・子ども・家庭・学校教育・その他
第5回	令和4年 4月	まとめ（分野全般）

第1回北区基本構想審議会 部会3「創出」次第

令和3年11月17日(水) 18時30分

審議会終了後

北とぴあ15階 ペガサスホール

1 開会

2 次回以降のスケジュールについて

3 その他

4 閉会

審議会開催スケジュール

【部会3 創出】

回	期日	審議内容
第1回	令和3年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の進め方 ・部会スケジュール
第2回	令和3年12月10日 岸町ふれあい館（3階） 第五集会室 15時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画 ・道路・交通
第3回	令和4年 1月12日 北区役所（4階） 第二委員会室 14時～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none"> ・住宅・公園河川 ・防災・防犯
第4回	令和4年 2月 3日 北とぴあ（14階） カナリアホール 18時30分～	政策検討シート <ul style="list-style-type: none"> ・環境共生・環境保全・資源循環 ・その他
第5回	令和4年 4月	まとめ（分野全般）